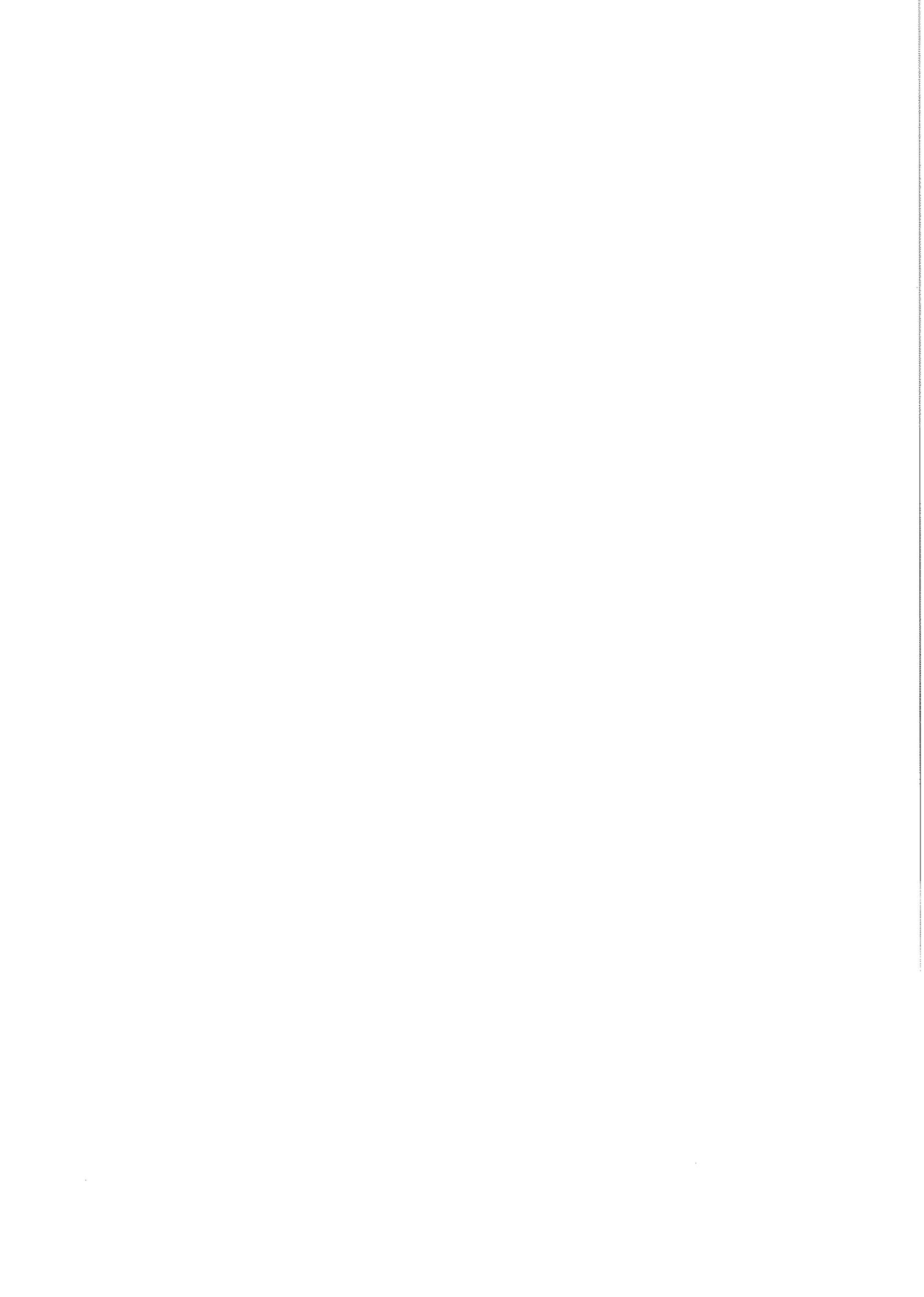


令和4年度

事業報告書

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会



令和4年度社会福祉法人 西予市野城総合福祉協会事業報告書

はじめに

2020年以來のコロナ禍や2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻を背景とした原油や穀物価格の高騰と急激に進む円安などによって、日常生活に密接なエネルギーや食料品等の価格上昇が続いており、併せて新型コロナウイルス感染症に伴う介護サービス利用稼働率低下のため、介護報酬の減収となり令和4年度は、厳しい経営状況となりました。

新型コロナウイルス感染症については当初より感染対策を徹底し、ご利用者、職員共にワクチン接種を定期的に行っていましたが、感染力の強い変異株により5つの施設にクラスターが発生いたしました。やむを得ず面会制限、サービス利用の自粛要請事業所の休業等により、ご利用者、ご家族、関係者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしました。当法人の感染症対策にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

施設運営については、感染対策を講じながらも安心・安全な環境を整え、ご利用者の方に潤いのある生活を送っていただけるよう各施設・事業所で行事や日課に工夫を凝らしたサービスの提供を行って参りました。

そのような状況の中、平成4年度は、6つの重点目標を掲げ実践してきました。IV令和4年度重点目標達成状況で報告をいたします。特に、1. サービスの質の向上については野村育成園移転新築工事を計画していましたが、令和3年度に申請した社会福祉施設整備計画の補助金申請が令和4年度に不採択になったため、断念せざるを得ない状況となりました。令和4年度に再度補助金申請を行いました。採択されれば令和5年度に野村育成園移転新築工事を着工して参ります。

福祉サービスについては、人口減少に伴い人材確保が難しい状況が続いていますが、サービスを利用する方も徐々に減少しています。その為、同行援護、居宅介護、重度訪問介護、行動援護のサービスを提供していたヘルパーステーションハート事業所を苦渋の決断でしたが令和5年3月31日で閉所いたしました。利用者の方々はそれぞれ他事業所のサービスにお繋ぎすることが出来ましたが、大変ご迷惑をおかけいたしました。

今後も、人材不足や需要の減少といった過疎地域の課題が出てくると思います。関係機関との連携を強化し、西予市全体で福祉サービス維持等の協議も必要になってきます。福祉サービス事業を安定的に継続的に経営していくことが地域における社会福祉法人の役割ですが課題は山積です。福祉人材の確保と育成に努め、きめ細かなサービスの提供が出来るよう努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」でしたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になります。個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとした対応に変わるという事ですが、高齢者施設等においては感染対策の徹底を当面継続することとされています。

地域における発生状況を踏まえながら、利用者の皆さんが安心安全かつ快適な生活を過ごして頂けるよう努めて参ります。今後ともご理解いただきますようお願い申し上げます。

I ●共生 ～ともに生きともに育つ～

II 基本方針

- 私たちは利用者の尊厳を大切にしともに歩みます
- 私たちは家族との絆をともに深めます
- 私たちは夢を持ち笑顔でともに邁進します
- 私たちは安心して暮らせる地域社会をともに築きます
- 私たちは法令を遵守し信頼される法人をともに目指します

III 求める職員像

1. 目配り・気配り・心配りができ、寄り添える職員
2. 相手のおもいを理解し、丁寧に対応できる職員
3. 目標を持ち、知識・技術・心の向上に努める職員
4. 謙虚な心で、地域とのつながりを大切にする職員
5. 法人職員として自覚を持ち、信頼される職員

IV 令和4年度重点目標達成状況

① サービスの質の向上

築42年で経年劣化の見られる障害者支援施設野村育成園移転新築工事計画を令和4年度実施として策定し予算計上していましたが、社会福祉施設整備計画の補助金申請が不採択になったため令和4年度の工事着工は断念しました。再度補助金申請を行い、令和5年度収支予算に計上し準備を進めました。利用者の重度化に対応し、感染症対策や災害に強い地域の福祉避難所としての機能を持つ施設としています。

中長期的には、野村学園の生活環境の整備、建物の老朽化、土砂災害の危険性、野村ダム湖畔近くという立地条件などを鑑み、野村学園の建替えも考慮した設備としています。

② 福祉人材の確保と育成、定着に向けた取組の強化

人材確保に向けた広報活動としては、パンフレットや広報誌、ホームページ等で情報を発信しています。法人プロモーションビデオもホームページに掲載しました。

令和4年度は、求人サイトネットワークを利用し、広告やネット配信を行いました。1名の方の応募があり採用しています。

子育てや介護中でも育児休暇、子の看護休暇、介護休業や介護休暇も気兼ねなく取得し、仕事との両立が出来る体制や働く意欲がある高年齢者がその能力を十分に発揮できる環境の整備などを行っています。

小学校就学の始期に達するまでの子が新型コロナウイルス感染症陽性又は濃厚接触者になった場合、子の看護休暇の取得を推奨いたしました。

外国人労働者雇用については、令和4年度までにミャンマーから4名の技能実習生を迎えていましたが、令和4年7月には新たに4名の技能実習生を受け入れました。特別養護老人ホームしいのき園と特別養護老人ホーム寿楽苑に2名ずつ配置しています。受け入れ施設のご利用者やご家族、職員、地域住民の理解と協力を得ながら、外国人が安心して仕事や生活ができるようサポートしています。実習生も大変努力し介

護技術実習評価試験に合格しています。又、日本語教室の受講も真面目に取り組んでいます。令和5年度には2名の外国人の受け入れを計画しています。

定年延長について協議いたしました。退職金等の課税についての課題があり、規則の制定には至りませんでした。職員に不利益にならないよう研究しながら定年延長も検討して参ります。

③ 危機管理体制の強化

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の終息の見通しは立たず、一時期は感染が拡大し5つの施設でクラスターが発生いたしました。その時期は感染を抑えることが最優先となりますが、感染状況が落ち着いている時には、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、面会や外出は感染状況に応じて対応いたしました。各施設・事業所とも、ご利用者に生活の潤いを感じ笑顔で過ごしていただけるよう様々な工夫をしています。

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」でしたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になります。個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとした対応に変わるという事ですが、高齢者施設等においては感染対策の徹底を当面継続することとされています。

地域における発生状況を踏まえながら、利用者の皆さんが安心安全かつ快適な生活を過ごして頂けるよう努めて参ります。施設の感染対策に今後ともご理解いただきますようお願い申し上げます。

災害等については、関係機関との協力調整を行いました。各機関との災害協定を締結し、地域全体でも防災対策に取り組んでいます。施設では、食料品や飲料水、衛生用品備蓄拡大に努めました。特に新型コロナウイルス感染症クラスター発生施設へ各施設から迅速に衛生用品等を提供し、感染の蔓延防止に繋がりました。

④ 成長支援制度の推進

成長支援制度の目的は、単なる評価・処遇を決めるといったものだけでなく、制度の運用を通じて管理者・職員がともに成長していくこと。法人の組織力を高めることを目指し新しい発見や成長点を見出すことなど、職員にしっかりと説明してきました。

仮運用から6年が経過しました。一連の運用サイクルも軌道に乗り、人事考課運用マニュアルを作成しました。処遇決定については、評価によって昇格や降格、賞与率など反映しています。令和4年度までアドバイザーと顧問契約を締結していましたが、令和5年度からは成長支援委員会委員長と法人本部とで調整を行い、統括委員会や成長支援プロジェクト会で協議しながら進めていきます。

進捗支援、目標の振り返り、人事評価、評価調整、処遇決定、フィードバック、そして部門・チーム目標と一連の流れを実施してきました。今何を目標に具体的に取り組み改善していくか話し合いを重ね、少しずつ職員も組織も成長しています。

成長支援制度の運用サイクルは、法人理念や基本方針から導き出された法人中長期計画から施設目標、部門・チーム目標設定、各職員の目標設定に繋がり、目標を達成する手段として位置付けられます。個人の「成果」「成長」が法人全体の経営に大きな影響を与えているんだということを職員に認識してもらうことが重要です。

令和4年度の活動については、Ⅶ成長支援制度の取り組みに記載しています。

⑤ 第4期中長期計画の実践

中長期計画は、基本理念等ならびに事業目的を明確化し、組織に浸透させることができ、継続性、計画性に基ついた意思決定を推し進めることができます。事業の管理遂行を円滑に行い、組織内外に説明責任を果たし社会福祉法人の信頼を高める為に必要です。

令和4年度は、第4期中長期計画の実施2年目になります。法人の基本理念の基に基本方針があり、第4期中長期計画にはこの基本方針を具現化するために「利用者に対する基本姿勢」、「社会に対する基本姿勢」、「福祉人材に対する基本姿勢」、「マネジメントに対する基本姿勢」の4つの基本姿勢を掲げました。その内容には、『サービスの支援の質の向上（野村育成園と野村学園の建て替え計画を含む）』『成長支援制度の定着』『人材確保』『地域を包括する公益的取り組みの推進』を4つの柱として重点的に取り組むこととしています。

法人の事業計画や各事業所の事業計画には、それぞれの項目を落とし込み達成目標を掲げています。成果と課題を分析し、PDCA（計画→実施→検証→改善）サイクルを機能させ継続的な経営改善に繋げていきます。

⑥ 地域における公益的な取り組みの実践

令和4年度もコロナ禍のため、地域へ出での活動や、利用者との交流事業、施設開放などコロナ禍以前に比べると地域における公益的な取り組みは少なくなっていますが、西予市社会福祉協議会が運営する規制緩和デイサービスや認知症予防自主サークル活動への施設開放、地域へ出向いてのミュージック・ケアの実践、市道の清掃、幼稚園・保育所等との交流など、感染対策を取りながら可能な限り行いました。

ボランティアの受け入れなどは、利用者との接触を避けるため、コミュニケーションを深めることは難しい状況ですが、介護用品や介護機械の説明、施設で働くそれぞれの職種の仕事内容の説明など、福祉について関心を持ってもらう内容にするよう工夫を凝らしています。

修学金事業や法人後見については、地域や関係機関に周知を行い利用も増えてきています。看護資格取得の奨学生は1名決定しました。看護師の確保と事業継続に期待しています。取組については、XI令和4年度地域における公益的な取組に記載しています。

社会福祉法人の持つ専門性や資源を活用し、地域のニーズに効果的に応えるために今後も取り組んで参ります。

V 事業実施状況

期 日	事 業 名	場 所	適 要
4月1日	辞令交付式	各施設	Webで開催
4月28日	野村育成園厨房プロポーザル	野城ふれあい館	
5月12日	苦情解決第三者委員会	野城ふれあい館	
5月16日	決算事務内部監査	野城ふれあい館	令和3年度決算チェック
5月17日	監査法人アシスト菊池会計士決算審査	野城ふれあい館	
5月18日	法人監事監査	野村学園、法正園、寿楽苑	令和3年度決算チェック
5月19日	法人監事監査	野村育成園、しいのき園、奥伊予荘	令和3年度決算チェック
5月27日	第1回理事会	野城ふれあい館	令和3年度事業報告・収支決算承認・他
6月3日	第1回評議員選任・解任委員会	野城ふれあい館	補欠評議員選任
6月15日	第2回理事会（理事会の決議があったものとみなされた日）		
	会計士による財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野城ふれあい館	令和3年度決算指導
6月24日	第1回評議員会	野城ふれあい館	令和3年度決算承認
7月12日	外国人技能実習生雇用	しいのき園2名、寿楽苑2名	
7月14日	令和4年度愛媛県障がい児（者）施設等施設整備補助金の協議結果（不採択）通知受理	野村育成園	
7月23日	第1期採用試験	野城ふれあい館	3名応募者内2名内定
8月12日	看護師奨学生選考試験	野城ふれあい館	受験者1名
	看護師奨学生審査委員会	野城ふれあい館	看護師奨学生1名決定
9月5日	業務管理体制の整備に係る一般検査	野城ふれあい館	南予地方局監査グループ
9月17日	第2期採用試験	野城ふれあい館	2名応募者内2名内定
	正職員登用試験	野城ふれあい館	1名応募内1名内定
9月30日	第3回理事会（理事会の決議があったものとみなされた日）		
10月5日	会計士による財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野城ふれあい館	上半期決算確認
10月中	奉仕作業	野村・城川地区	各施設・事業所毎
10月24日	第3期採用試験	野城ふれあい館	1名応募者内1名内定
10月25日	第4回理事会（理事会の決議があったものとみなされた日）		
11月9日	会計士による財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野城ふれあい館	
11月15日	ストレスチェック実施 ～25日	各事業所	
11月24日	法人監事監査	育成園・寿楽苑・奥伊予荘	上半期監査
11月25日	西予市合同就職説明会	西予市民文化会館	採用者無
11月29日	法人監事監査	法正園・しいのき園・野村学園	上半期監査
12月5日	第5回理事会（理事会の決議があったものとみなされた日）		
1月17日	役員会	野城ふれあい館	役員改選について
2月10日	第4期採用試験	野城ふれあい館	1名応募内1名内定
3月16日	第6回理事会	野城ふれあい館	令和5年度事業計画・収支予算他
3月24日	会計士による財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野城ふれあい館	経営状況の確認と相談
3月29日	第2回評議員会「評議員会の決議があったものとみなされた日」		補欠役員を選任
3月31日	退職辞令交付式	野城ふれあい館	定年者7名内継続雇用5名 依願退職者7名 パート任期満了5名

VI 法人研修会

各階層に応じた研修会を行い、当法人で働く組織人として習得するべき知識や技能の向上を図り、組織マネジメントの強化を図るため計画していましたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため一部変更や中止をしています。

No.	研修日	時間数	対象者	研修テーマ名	備考
1	5月～6月	6日(24時間)	令和4年度新任職員研修会	講師:幸田裕司 メンタルヘルス他	Web研修
2	7月～8月	3日(12時間)	リーダー研修会	講師:大塚恭子 コーチング他	感染対策により中止
3	8月～9月	3日(12時間)	ネクストリーダー研修会	講師:阿部ふみ 接遇対応向上他	Web研修
4	12月、2月	2日(8時間)	リーダー研修会	講師:上野敬治 リーダーシップ他	Web研修
5	3月	1日(4時間)	リーダー研修会	講師:上野敬治 業務改善	Web研修

VII 成長支援制度の取り組み

期日	会議名	検討内容	場所
4月15日	成長支援事務局会	今年度の取り組み 他	Web会議
5月23日	成長支援制度プロジェクト会議	推進テーマ・目指すべき職員像他	Web会議
5月24日	第1回施設オンライン巡回	上期チーム目標設定ミーティング	野村育成園・野村学園
5月24日	第1回施設オンライン巡回	上期チーム目標設定ミーティング	法正園・寿楽苑
5月26日	第1回施設オンライン巡回	上期チーム目標設定ミーティング	しいのき園・奥伊予荘
6月16日	成長支援事務局会	目指すべき職員像・人事考課・人事評価者マニュアル他	Web会議
7月12日	新任評価者研修	新任評価者研修	Web会議
7月28日	成長支援制度プロジェクト会議	目指すべき職員像・人事考課・人事評価者マニュアル他	Web会議
8月18日	成長支援事務局会	人事考課・人事評価者マニュアル・スキルチェック他	Web会議
8月25日	成長支援研修	パワハラ研修(育成園主催)	Web会議
9月29日	成長支援制度プロジェクト会議	人事考課・人事評価者マニュアル・研修他	Web会議
10月28日	成長支援事務局会	人事評価者マニュアル・研修他	Web会議
11月25日	成長支援制度プロジェクト会議	目指すべき職員像アンケート改善項目・人事評価者マニュアル他	Web会議
11月29日	成長支援研修	アサーティブ(伝えにくい事をうまく伝える手法)研修①	Web会議
12月1日	第2回施設オンライン巡回	上期の振り返り・下半期目標	野村育成園・野村学園
12月1日	第2回施設オンライン巡回	上期の振り返り・下半期目標	しいのき園・奥伊予荘
12月6日	第2回施設オンライン巡回	上期の振り返り・下半期目標	法正園・寿楽苑
12月14日	成長支援事務局会	人事評価者マニュアル・次年度テーマ他	Web会議
12月22日	成長支援研修	アサーティブ(伝えにくい事をうまく伝える手法)研修②	Web会議
1月5日	成長支援研修	アサーティブ(伝えにくい事をうまく伝える手法)研修③	Web会議
1月27日	成長支援制度プロジェクト会議	人事評価者マニュアル・次年度テーマ・年度振り返り他	Web会議
3月8日	第3回施設オンライン巡回	人事考課マニュアル・チーム目標振り返り	野村育成園・野村学園
3月8日	第3回施設オンライン巡回	人事考課マニュアル・チーム目標振り返り	法正園・寿楽苑
3月13日	第3回施設オンライン巡回	人事考課マニュアル・チーム目標振り返り	しいのき園・奥伊予荘

VIII 理事会

令和4年度第1回理事会

期 日 令和4年5月27日（金）

○ 報 告

報告番号	件 名
報告 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第2号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第1号）について
報告 第3号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第2号）について
報告 第4号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第3号）について
報告 第5号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第4号）について
報告 第6号	寿楽苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第5号）について
報告 第7号	奥伊予荘関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第6号）について
報告 第8号	任期満了に伴う苦情解決第三者委員の任命について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第3号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第4号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会継続雇用に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第5号	共同生活事業所かぜ預り金等管理規程の全部を改正する規程制定について
議案 第6号	令和3年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の承認について
議案 第7号	令和3年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第8号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠評議員候補者の推薦について
議案 第9号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会の招集について
議案 第10号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員会の招集について
議案 第11号	野村育成園移転新築工事設計監理業務請負契約について

令和4年度第2回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和4年6月15日（水）

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会社会福祉充実計画の変更承認について
議案 第13号	令和4年度定時評議員会の議案の追加について

令和4年度第3回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和4年9月30日（金）

○ 報告

報告番号	件名
報告 第9号	第1回評議員選任・解任委員会の議事録提出について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第14号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会公益通報者保護規程の全部改正について
議案 第15号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会育児休業・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第16号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第17号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第18号	令和4年度愛媛県障がい児（者）施設等施設整備費補助金の協議結果事業不採択に伴う野村育成園移転新築工事について
議案 第19号	野村育成園移転新築工事設計管理業務請負変更契約について
議案 第20号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第21号	令和4年度野村育成園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第22号	令和4年度野村学園障害児拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第23号	令和4年度寿楽苑拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第24号	令和4年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第25号	令和4年度修学支援事業拠点区分補正予算（第1号）について

令和4年度第4回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和4年10月25日（月）

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第26号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会奨学金規程の一部改正について

令和4年度第5回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和4年12月5日（水）

○ 報告

報告番号	件名
報告 第10号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第11号	業務執行状況の報告について
報告 第12号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第7号）について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第27号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第28号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第29号	令和4年度野村育成園拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第30号	令和4年度法正園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第31号	令和4年度しいのき園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第32号	令和4年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第2号）について

令和4年度第6回理事会

期 日 令和5年3月16日（木）

○ 報告

報告番号	件名
報告 第13号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第14号	指定障害者支援施設野村育成園運営規程の全部を改正する規程制定（専決処分第8号）について
報告 第15号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第9号）について
報告 第16号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠評議員選任・解任委員の選任について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第33号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第34号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第35号	法正園関係事業の運営規程の全部を改正する規程制定について
議案 第36号	惣川高齢者生活福祉センター関係事業の運営規程の全部を改正する規程制定について
議案 第37号	しいのき園関係事業の運営規程の全部を改正する規程制定について
議案 第38号	寿楽苑関係事業の運営規程の全部を改正する規程制定について
議案 第39号	奥伊予荘関係事業の運営規程の全部を改正する規程制定について
議案 第40号	ヘルパーステーションハート運営規程の廃止について
議案 第41号	西予市野城総合福祉協会経理規程の一部を改正する規程制定について
議案 第42号	令和4年度野村育成園拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第43号	令和4年度野村学園成人部拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第44号	令和4年度野村学園第二拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第45号	令和4年度野村学園障害児拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第46号	令和4年度法正園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第47号	令和4年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第48号	令和4年度しいのき園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第49号	令和4年度寿楽苑拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第50号	令和4年度奥伊予荘拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第51号	令和4年度修学支援事業拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第52号	令和4年度法人後見事業拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第53号	令和5年度給食業務委託契約更新について
議案 第54号	令和5年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業計画について
議案 第55号	令和5年度野村育成園拠点区分収支予算について
議案 第56号	令和5年度野村学園成人部拠点区分収支予算について

議案 第57号	令和5年度野村学園第二拠点区分収支予算について
議案 第58号	令和5年度野村学園障害児拠点区分収支予算について
議案 第59号	令和5年度法正園拠点区分収支予算について
議案 第60号	令和5年度しいのき園拠点区分収支予算について
議案 第61号	令和5年度寿楽苑拠点区分収支予算について
議案 第62号	令和5年度奥伊予荘園拠点区分収支予算について
議案 第63号	令和5年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分収支予算について
議案 第64号	令和5年度修学支援事業拠点区分収支予算について
議案 第65号	令和5年度法人後見事業拠点区分収支予算について
議案 第66号	施設長等の選任及び解任について
議案 第67号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠理事候補者の推薦について
議案 第68号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会令和4年度第2回評議員会決議の省略について

IX 評議員会

令和4年度第1回評議員会

期 日 令和4年6月24日（金）

○ 報 告

報告番号	件 名
報告 第1号	令和3年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第1号	令和3年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会社会福祉充実計画の変更承認について

令和4年度第2回評議員会

評議員会の決議の省略

「評議員会の決議があった日」とみなされる日 令和5年3月29日（水）

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第3号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠理事の選任について

X 専門委員会実施状況

委員会	実施回数	内容
統括委員会	26	経営管理・整備・研究
危機管理対策委員会	23	危機管理対策
広報委員会	8	広報誌3回発行、協会パンフレット、ホームページ作成
エルダー委員会	2	エルダー制度の目的確認、各施設への周知、制度の構築
研修委員会	3	階層別研修、地域連携講演会、継続研修会等の計画実施
外国人雇用推進委員会	6	介護人材確保と環境づくり。職場定着と地域定着
総務・財政委員会	6	経営分析、労務管理、事務効率化、規則整備の準備
種別部会（高齢者福祉部会）	5	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
種別部会（障害・児童福祉部会）	4	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
中長期委員会	3	計画策定、状況確認、評価
情報管理委員会		情報システムの適正な利用と運用。情報資産のセキュリティ並びに業務で取り扱う電子データの完全性と安全性を確保する
危機管理委員会	1	感染症対策（BCP策定）（BCP）訓練
安全衛生委員会	1	ストレスチェック制度実施説明
ステップ委員会	4	奉仕作業、地域行事参加、ボランティアコーディネート

XI 令和4年度 地域における公益的な取組

取組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考	
施設開放	令和4月から 令和5年3月	認知症カフェ 花草家	野城ふれあい館マルシェ	年24回×4時間		無料	西予市地域包括センター	
		認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	年6回×4時間		無料	ハツラツ会	
		基準緩和型通所デイサービス	デイサービスセンターふれあい後施設	年61回×6時間		冷暖房費以外無料	西予市社会福祉協議会	
	9月6日から 9月8日	愛媛大学医学部看護学科及び医学科在宅生活支援実習	野城ふれあい館ホール	20人		無料	愛大医学部	
		4月27日	夏休みチャレンジボラン		2	11	無料	西予市社会福祉協議会
	5月11日	ティア担当者会議	野城ふれあい館マルシェ	2	10	無料	西予市老施協	
	6月7日	西予市老施協相談員会		2	10	無料	西予市社会福祉協議会	
	7月7日	夏休みチャレンジボラン ティア担当者会議	野城ふれあい館マルシェ	2	10	無料	西予市社会福祉協議会	
	9月24日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会	
	10月12日	事例検討会	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	西予市地域包括センター	
	10月15日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会	
	1月23日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	4.5		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会	
	2月9日	喀痰吸引講習会	野城ふれあい館ホール	8h×2日		無料	プレデンスメ デイカル	
	2月10日					無料		
	2月25日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	4		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会	
	3月2日	西予市老施協	野城ふれあい館ホール・マルシェ	2		無料	西予市老施協	
	3月12日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館マルシェ	6.5		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会	
	令和4年度	1名奨学生に奨学金を貸与					600,000	
	令和4年度	2名に就職準備貸付金を貸与					600,000	
	奉仕作業	10月中	法人奉仕作業	野村・城川地区	3	115		

令和4年度 地域における公益的取り組み

野村育成園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
ハート&ハート	6月16日	ミーティング・ケアの実践	宇和町下松葉	3時間	2名		
	2月20日		城川高川	3時間	2名		
	3月14日		城川陰の地	3時間	1名		
	3月14日		城川町田穂	3時間	1名		
	3月15日		城川今田	3時間	1名		
幼稚園芋植え	6月15日	芋植え交流	野村育成園	2時間	8名		
幼稚園芋ほり交流	10月29日	芋ほり交流	野村育成園	2時間	8名		

令和4年度 ハート&ハート事業報告

【確認】

社会福祉法人における地域貢献に向けた「1法人（施設）1実践」活動を実践する。

【事業目的】

社会福祉法人の使命である「地域福祉における福祉の増進」の一環として、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を目指す。

法人が自ら地域の中に入っていき、潜在的な地域のニーズを把握し、法人としての今後のサービスの展開に結び付けていく。

また法人・個人としての技術・技能を地域に提示していく過程において、そのスキルアップや人材の育成に結び付けていく。

【事業内容】

西予市内 主に野村町内や城川町内のいきいきサロンに出向き、ミュージック・ケアや和みの場を体験していただく。

野村・城川地域については謝礼や講師料、交通費は頂かない。
その他の地域は要相談。

ミュージック・ケアについては、その技術を提供できる職員1名と出来る範囲でサブの職員が同行する。

【周知方法】

- 1 社協と連携し、町内のいきいきサロン役員へチラシの送付
- 2 地域包括支援センター、生活福祉課への依頼

【実施状況】

	実施日	地区名	会場
1	6月16日	宇和町下松葉	集会所
2	2月20日	城川町高川	高川公民館
3	3月14日	城川町田穂	集会所
4	3月14日	城川町陰の地	集会所
5	3月15日	城川町今田	集会所

【反省と今後の課題】

西予市内の医療・保険・介護・福祉等の関係機関で情報共有ができるクラウドシステム「kinton」を活用し、ハート&ハートのチラシを掲載し事業の宣伝をさせてもらった。また、保健師や社協職員からもいきいきサロンにチラシを配布していただいた。早速、宇和地域から1件依頼があった。城川地域は毎年依頼があり楽しみにしていただいている。サロンに参加された利用者がデイサービスに行かれミュージック・ケアがとても面白かったと宣伝していただき、法人内のデイサービスでセッションさせてもらうきっかけとなった。法人職員がミュージック・ケアを実践できればさらに事業を広げることができるのではないかと考える。

令和4年度 地域における公益的取り組み

野村学園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
公道管理	9月5日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.6名)		
	9月20日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.8名)		
	2月8日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.7名)		
清掃活動	毎月1回	ゴミ拾い	学園・ダム周辺	2時間	3名(+1.4名)		
	11月21日～11月30日	保青実習生受入(松山東雲短期大学2名)	野村学園	8時間	6名		コロナ対策にて期間短縮(通常90時間)
人材育成	年間通じて	エコキャップ収集	多数				
	4月8日	エコキャップ出荷	松山	5時間	1名		
物品貸し出し	7月8日～7月11日	マイク・アンプ	西予市地域包括センター				
	7月25日～7月26日	かき氷機	中屋敷青年部				
	7月30日～7月31日	かき氷機	緑ヶ丘組				
	8月6日～8月10日	綿菓子機・ポップコーン機	三浦教育振興財団				
	8月13日～8月15日	綿菓子機・かき氷機	野村青年団				

令和4年度 地域における公益的な取組

法正園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	費用	備考
法人減免	4月～6月	介護福祉サービス費25%軽減	法正園	-	-	63,110	利用者1名
	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	デイサービスセンターふれあい	-	-	34,119	利用者3名
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用していただく	デイサービスセンターふれあい	1日	-	9,360	利用者10名
なごみホール貸出	4月～9月	西予市社会福祉協議会規制緩和デイサービス利用	法正園なごみホール	1日	-	無料	月～水曜日 100日利用

令和4年度 地域における公益的な取組

しいのき園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	特別養護老人ホームしいのき園	-	-	¥168,503	利用者1名

令和4年度 地域における公益的な取組

寿楽苑

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	デイサービスセンター寿楽苑		-	3,048	1名
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用	デイサービスセンター寿楽苑	1日	-	6,000	6名利用
入浴サービス	4月～3月	障害者生活支援(生きがい事業代替え)	デイサービスセンター寿楽苑	1日	-	40,000	8回利用

令和4年度 地域における公益的な取組

奥伊予荘・惣川高齢者生活福祉センター

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
保育園交流会	10月	認定こども園しろかわ保育所芋ほり交流	奥伊予荘	1時間	10人		
小学校交流会	11月	西予市立城川小学校交流	奥伊予荘	1時間	10人		
緊急措置入所	2月	市内ご夫婦の虐待事例による緊急受け入れ	奥伊予荘	約1か月	3人		R5.2.2～2.28
幼稚園・小学校交流会	12月・3月	西予市立惣川幼稚園・小学校交流	惣川高齢者生活福祉センター	1時間	3人		
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用案内	惣川高齢者生活福祉センター	1日			案内するが利用者なし

XII 事業所別事業報告

【障がい・児童福祉部】

令和4年度、野村育成園では、令和3年8月に提出した建替え申請のための老朽民間社会福祉施設整備計画協議書が不採択という残念な結果となり、建替えに踏み出すことが出来ませんでした。利用者の高齢化、重度化、施設の老朽化は否応なしに進んでいます。平均年齢が63歳7カ月となった利用者へのよりよい支援、介助を行うために何が必要かを今一度見つめ直す機会と致しました。ここで立ち止まるわけにはいきませんので、8月には、再度協議書の提出を行いました。

新型コロナウイルス感染症は、今年度も猛威を振るい、11月には野村育成園、野村学園児童部で、2月には野村学園成人部でクラスターを発生させてしまいました。幸いなことにどの施設も重症化する利用者がおられなかったことが救いでした。帰宅や行事、外出、行動などあらゆる面で制限をお願いしましたが、皆様のご協力とご理解を得て、大きな混乱もなく乗り切ることが出来ました。引き続き感染対策をとりながら、利用者が楽しめる生活を工夫していきたいと思えます。

野村学園では、南予地域で唯一の障害児入所施設をはじめとして3拠点体制で運営をしています。高等部卒業までの通過施設となった障害児入所施設では、令和4年度に1名が障害者支援施設へ移行しました。西予市から委託されている、放課後児童健全育成事業所のむらキッズは登録者が定員を超過していますが、しろかわキッズでは、城川町の少子高齢化の影響を受け定員割れをしている現状にあります。

地域支援としましては、拠点野村育成園で運営していました居宅介護事業所ヘルパーステーションハートを、令和5年3月末で廃止することとなってしまいました。平成21年10月に開始して以来、居宅介護、行動援護、同行援護、移動支援のサービスを地域の障害者に提供して参りましたが、利用者の減に伴う収益の減、法人全体の人材確保の困難等が大きく経営面でのしかかってきたことを要因としています。利用者には大変申し訳なく思っています。断腸の思いで下した決断ですので、その分、今あるサービスや支援に対し心して取り組んでいかなくてはと強く思っています。

今後も障がいサービスの拠点として地域の方からも信頼される事業所となるよう、努めていきたいと思えます。

1. 障害者支援施設野村育成園

(1) 行動指針

- ア 利用者の意志及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 利用者や家族の意向を把握し、連携してサービスの充実に努めます。
- ウ 笑顔で過ごすことのできる生活の場と活動の場を提供していきます。
- エ 施設や職員の持つ知識、資格を生かし、地域福祉の増進に貢献します。
- オ 信頼される職員、施設、法人となるよう自己研鑽に努めます。

(2) 事業報告

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	機能低下防止への取り組み	・機能訓練や創作活動、園外歩行等、個々の能力や状態に応じた活動に取り組み、日中活動の充実を図りました。 ・午後は、OTによる個別のリハビリを実施し、定期的なカンファレンスも行いました。
	個別支援計画の充実	・カンファレンスの為、家族に要望をお聞きし本人だけでなく家族の意向も個別支援計画に取り入れ作成し実践しました。 ・利用者や家族のニーズに基づいたサービスの提供を目指し、コロナ禍でも出来る外出等を実施しました。 ・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。

	重点項目	令和4年度取組報告
	ご家族との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> 各担当が月に1回は電話連絡を行い、利用者の近況報告を行いました。 年4回、家族へ利用者の写真と出納帳のコピーを送付しました。
	高齢化・看取り対応への基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 今年度喀痰吸引研修はZoomで研修を行えたが、病院での演習はコロナウイルス流行により延期となっています。再開次第随時研修への参加をしていきます。
社会に対する基本姿勢	地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサロンに出向くハート&ハートを実施することにより「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を意識づけていくことに繋がった。
	開かれた施設づくり	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みのボランティアの受け入れ実施を行いました。 コロナ禍ではありましたが、コロナの状況を確認しながら日中一時や短期入所の受け入れを行い地域支援の役割を果たしました。
福祉人材に関する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士実務者研修2名、 強度行動障害研修5名受講しました。 介護福祉士国家試験2名合格しました。
	魅力ある職場作り	<ul style="list-style-type: none"> 成長支援制度を実施し、チーム目標・個人目標を掲げリーダーを中心に一丸となって目標に取り組むことが出来ました。 月一回、産業医との面接やストレスチェックを実施。回収率100%を達成しました。
	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月に1度園内研修を実施し感染症・虐待防止研修、オンラインによる研修等を実施しました。 強度行動障害のある利用者の対応を他機関とも協力しながら取り組んでいます。 虐待チェックリストを実施し気づきを促しました。 介護技術伝達講習で習得した技術を職員間で共有する場を設け支援に生かしています。 施設職員が講師となり、研修で学んだことを発表する場を設け、互いに学びを深め合っています。
マネジメントに対する基本姿勢	施設入所定員数の確保及び見直し	<ul style="list-style-type: none"> 4年度、3名の方が死亡、2名が療養型の病院へ入院され退所となり実人員減となっていますが補充はしていない状態です。施設建て替え時の定員見直しと合わせて、今後入所受け入れも検討していく予定です。 令和5年度に建替える方針を明確にし、それに向けた準備を行っています。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> エルダー制度を導入し、人材育成に取り組みました。 職員会で法人理念を唱和し周知を図りました。 虐待研修33名の職員が参加しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その他
4月	園内レクリエーション開催	新人説明会 成長支援チーム目標・個人目標 設定 防火管理、緊急時対応研修	県・南予総会(書面) 出納帳等送付 家族会役員会
5月	広報誌発行 健診 希望外出 全園作業 園内レクリエーション開催	前年度・今年度新任者対象研修	南予ソフトボール大会 (中止)
6月	芋植え交流会(幼稚園) 全園作業 園内レクリエーション開催 調理実習	同行援護 研修 虐待チェックリスト(1回目)実施	南予レクバレー大会 (中止) 家族えがおの集い(中止)
7月	園内レクリエーション開催	強度行動研修 行動援護オンライン研修 成長支援 研修	出納帳等送付 介護福祉士実務者研修
8月	希望外出 コロナワクチン接種	甲種防火講習 成長支援 研修 園内研修 行動援護研修 救命救急講習会(8名受講) 強度行動研修	南予施設福祉施長会 介護福祉士実務者研修
9月	こまどり歯科検診 調理実習 希望外出 コロナワクチン接種	障害者虐待防止・権利擁護 成長支援 研修 同行援護 研修 防災士研修(2名) 園内職員研修会(障がい特性)	介護技術伝達講習 介護福祉士実務者研修
10月	芋掘り交流会(幼稚園) 広報誌発行 希望外出 お楽しみ給食 園内レクリエーション開催	園内職員研修会 (危険予知・感染症予防) 成長支援チーム目標・個人 目標設定 相談支援者初任者研修 サビ管研修(基礎) 喀痰研修オンライン	出納帳等送付 ワックスがけ 全国施設長会Zoom
11月	順風会健診 希望外出	強度行動研修(基礎) 成長支援 喀痰研修オンライン	協会内奉仕作業 介護技術伝達講習
12月	クリスマス会 餅つき 希望外出 忘年会 インフルエンザ予防接種	南予職員合同研修会(中止) 虐待チェックリスト(2回目) 南予企画委員会(書面) 園内職員研修 防災に関する研修会	シェイクアウト愛媛 介護技術伝達講習

月	行事	研修（OJT）	その他
1月	希望外出 初詣 新年会 歳祝い 広報誌発行 コロナワクチン接種	障がい者虐待防止・権利擁護 セミナー	介護技術伝達講習 出納帳等送付
2月	希望外出 節分 コロナワクチン接種	県障がい者虐待研修 成長支援 研修 四国地区施設長会（Zoom）	介護技術伝達講習 第三者評価
3月	希望外出	成長支援 研修 強度行動オンライン研修	介護技術伝達講習
毎月	運営委員会、各寮会、支援体制委員会、イベント委員会、生活保健給食環境・安全衛生管理委員会、のいくネットワーク（サービス・苦情・虐待・拘束）、研修委員会 日中活動委員会、身体計測、誕生会メニュー、バイキング昼食、リクエストメニュー 産業医来園		
定期	カンファレンス（6ヶ月毎・入退院時・必要時）、職員会（4月及び奇数月） エルダー委員会、防災対策委員会		
随時	避難訓練、個別希望外出、嗜好調査、園内職員研修、感染症対策委員会 医療行為対策委員会、入所検討委員会		
毎日	嚙下体操、機能訓練（機能訓練・軽作業）		

（4）施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,400	2,065	86.0%	90.3%
5	2,480	2,116	85.3%	89.9%
6	2,400	2,056	85.7%	89.7%
7	2,480	2,115	85.3%	89.8%
8	2,480	2,102	84.8%	89.1%
9	2,400	2,043	85.1%	90.0%
10	2,480	2,081	83.9%	89.2%
11	2,400	1,997	83.2%	88.5%
12	2,480	2,047	82.5%	87.6%
1	2,480	1,998	80.6%	86.9%
2	2,240	1,835	81.9%	88.2%
3	2,480	1,957	78.9%	87.1%
合計	29,200	24,412	83.6%	88.8%

(5) 生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,760	1,536	87.3%	90.7%
5	1,840	1,582	86.0%	90.3%
6	1,760	1,528	86.8%	91.4%
7	1,840	1,590	86.4%	91.8%
8	1,840	1,577	85.7%	91.3%
9	1,760	1,507	85.6%	92.6%
10	1,840	1,552	84.3%	91.0%
11	1,760	1,475	83.8%	90.7%
12	1,840	1,533	83.3%	89.9%
1	1,840	1,498	81.4%	89.8%
2	1,600	1,315	82.2%	89.8%
3	1,840	1,485	80.7%	88.8%
合計	21,520	18,178	84.5%	90.7%

(6) 短期入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	60	18	30.0%	45.0%
5	62	22	35.5%	58.1%
6	60	20	33.3%	45.0%
7	62	18	29.0%	35.5%
8	62	22	35.5%	33.9%
9	60	38	63.3%	36.7%
10	62	49	79.0%	25.8%
11	60	25	41.7%	69.3%
12	62	20	32.3%	59.7%
1	62	13	21.0%	35.5%
2	56	13	23.2%	37.5%
3	62	21	33.9%	43.5%
合計	730	279	38.2%	43.8%

(7) 入所者障害支援区分別 (R5年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
0	6	26	34	5.42

男性 33名

女性 33名

平均年齢

63歳7カ月

最高齢

87歳

2. 共同生活事業所かぜ

(1) 行動指針

- ア 利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 家庭との結びつきを重視し、ご家族とご利用者の絆を大切にされた支援を行います。また、ご家族への連絡・報告にも気を配ります。
- ウ 利用者の障がいに対する正しい理解とエンパワーメントの視点を大切に、より自立した生活ができるよう、夢を持ち支援を行います。
- エ 地域との結びつきを重視し、誰もが住みやすい地域社会の構築に向けて努力します。
- オ 職員は専門性を高め、相互の連携を密にし良好なチームワークの確立に努め、関係法令を遵守した支援を行います。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者の意向に沿った支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なカンファレンスを実施し、本人の思いを大事にした個別支援計画を作成し、支援の実施に努めました。 ・各事業所と連携を図り、本人の意向を最優先し1名松山市の事業所に変更されました。
	高齢化・重度化に対応した夜間支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・きぼうホームの宿直体制継続中。 ・体調不良、怪我にて入院、手術が多く、退院後のケアを医療機関と情報を共有し対応しました。また家族との情報共有も密にし協力体制がとれました。 ・令和4年度においては、利用者への感染症の蔓延はなく、夜間に各ホームへの巡視や対応する事はありませんでした。きぼうホームで夜間帯に発熱者がありコロナ感染対応をとったが、その後陰性であった。 ・高齢期を迎えて、移動動作、日常生活において全面的な支援が必要な方が入所されており、利用者の方に安らげる生活の場を提供させて頂きました。今後の課題として、利用者の高齢者施設への移行等も検討していきます。
社会に対する基本姿勢	地域住民との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染防止対策、規模を縮小しながらも地域のイベント等の開催があり、地域の方と交流する機会は少しずつ増えてきています。 ・ホームの避難訓練時、隣家、タクシー会社等に協力を依頼し、地域の方々への理解と緊急時の連絡体制を確保できるよう努めています。 ・地域の方から利用者に関する情報提供があった際には、利用者が持つ障がいの理解と配慮を頂けるよう努めています。
福祉人材に対する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・4年度の資格取得はありませんでしたが、今後も資格取得に向けた取り組み、研修への参加に努めていきます。
	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修として、サービス管理責任者、支援員については野村育成園の職員研修に2ヶ月に1度参加。 ・世話人研修会として、サービス管理責任者が講師を行い、共同生活援助、障がい福祉サービスの理解、感染症対策、虐待、身体拘束についての研修会を行いました。

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	マネジメント力の向上	・リーダー研修、ネクストリーダー研修への対象者はありませんでした。
	今後のGHの方向性について	・外部サービス利用型及び、日中サービス支援型、共生型サービス等の情報収集を行うと共に法人内他事業所との情報交換を行い、事業所として今後の展開、構想等を話し合っています。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	・世話人スタッフ会にて業務に対する基本姿勢やモラル、ハラスメントについて話し合っています。虐待防止、権利擁護に関する研修を実施しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月		GHスタッフ研修会 (権利擁護、虐待、身体拘束)	
5月	順風会健診 (利用者、職員)		
6月	ホーム別希望外出	園内研修会 (虐 待)	
7月	ホーム別希望外出		
8月	コロナワクチン接種	GHスタッフ研修会 (事業所、サービス説明)	
9月	こまどり号歯科検診 ホーム別希望外出		
10月	幼稚園芋堀交流	園内・GHスタッフ研修会 (虐待防止、感染症)	西予市定期健診(対象者)
11月	ホーム別希望外出 かぜ焼肉パーティー		
12月	インフルエンザ予防接種 大掃除 利用者忘年会 (ホーム別) クリスマス会 (ホーム別)	園内研修 (強度行動障害)	
1月	初詣 (ホーム別)	GHスタッフ研修会 (虐待、権利擁護)	
2月	ホーム別希望外出	虐待チェックリスト	2/23付け：利用者1名退所
3月	花見 (ホーム別)		
新型コロナウイルス感染防止の為、地域行事や各種イベントが中止、規模縮小となり、事業所での行事も中止やホーム別での対応をした。			
毎月	運営委員会・のいくネットワーク・世話人スタッフ会		
定期	カンファレンス・職員会 (2ヶ月に一回)		
随時	避難訓練・ホーム別外出・内部研修会・法人研修会		

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	690	687	99.6%	99.3%
5	713	698	97.9%	97.9%
6	690	689	99.9%	99.9%
7	713	703	98.6%	99.0%
8	713	682	95.7%	99.0%
9	690	672	97.4%	99.0%
10	713	711	99.7%	99.9%
11	690	664	96.2%	99.6%
12	713	685	96.1%	97.8%
1	713	683	95.8%	97.9%
2	644	632	98.1%	99.8%
3	713	660	92.6%	99.7%
合計	8,395	8,166	97.3%	99.1%

入居者支援区分別 (R5年3月末現在)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	5	12	5	0	0

平均支援区分 2.87

年齢・性別状況 (R5年3月末現在)

	男性	女性
最少年齢	39歳8ヶ月	37歳7か月
最高年齢	83歳1ヶ月	71歳10ヶ月
平均年齢	61歳10ヶ月	56歳0ヶ月
男女平均年齢	60歳3ヶ月	
性別	16名	6名
計	22名	

3. ヘルパーステーション・ハート

(1) 行動指針

- ア 利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 安心・安全なサービスが提供できるよう、知識とスキルの向上を目指し研修や資格取得の機会を設けます。
- ウ いつまでも、その人が望む暮らしが実現できるよう、その人らしく生活できるよう地域生活を支えるお手伝いをします。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者様の意思を尊重し個々に応じたサービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅、居住サービス（ホームヘルプサービス・同行援護・行動援護）において、適宜、カンファレンスを実施し、利用者の思いを汲み取り環境に見合った適切なサービスの提供を心掛けました。コロナ感染状況を確認しながら地域生活支援事業（移動支援）を実施しました。 ・強度行動障がい支援者支援計画シートと手順書作成を行いました。
社会に対する基本姿勢	地域関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活事業所(かぜ)・相談支援事業所(こすもす)・野村育成園・他の居宅事業所等と連絡調整、情報交換を緻密に行う事により、円滑な運営やサービスの提供が出来るよう努めました。また、スタッフ間での情報共有にも努めてきました。
	高齢化と増設に伴う地域グループホームへの派遣業務	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集に努めてきました。
福祉人材に関する基本姿勢	定着に向けた人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資格は、ほぼ取得済み。経験のある職員を配置。
	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・園内職員研修に参加 ・サービス管理責任者実践研修 ・リーダー研修
マネジメントに対する基本姿勢	事業拡大と事業所整備	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染状況を確認しながら移動支援が少しずつ行えた。 ・利用者減少と職員人員不足の為、令和4年度事業所廃止。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の研修や他機関の講習等、積極的に参加し、資格取得や自己研鑽に努めた。

(3) 行事報告

月	業 務	研 修 (O J T)	その他 (行事)
4月	居宅介護・同行援護 行動援護		
5月	居宅介護・同行援護 行動援護 移動支援		・定期健診

6月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援	虐待チェックリスト（1回目）実施 園内研修（介護技術）	
7月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援		
8月	居宅介護・同行援護 行動援護	・園内研修（ハラスメント）	
9月	居宅介護・同行援護 行動援護	・心肺蘇生・AEDの使用方法 外部講師サニークリーン四国	・実地指導監査
10月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援	・園内職員研修 （感染症・危険予知）	
11月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援		
12月	居宅介護・同行援護 行動援護	・虐待チェックリスト（2回目） ・園内研修中止 ・サービス管理責任者実践研修	
1月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援	・リーダー研修	
2月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援	・園内研修（虐待） ・リーダー研修	
3月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援	・リーダー研修	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会（毎月）・職員会 ・委員会 ・避難訓練 ・強度行動障がい支援者養成研修（随時） ・常勤、兼務者との連携を図りながら随時、依頼に対応した。 		

（4）利用状況等

令和4年度サービス実績(延べ件数)		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
居宅介護	家事援助	知的	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	23	
		精神	24	25	23	20	9	8	9	3	0	0	0	121	
		身体	9	8	9	9	9	8	9	3	0	0	0	64	
	身体介護		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	
	通院等介助		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	同行援護		4	4	5	4	7	6	4	3	11	2	4	6	60
	行動援護		13	9	11	8	13	16	12	7	14	13	10	12	138
移動支援		0	2	2	3	0	0	4	0	0	1	2	2	16	
計		52	51	52	46	40	40	40	18	26	18	26	23	432	

4. 就労支援事業所あおぞら

(1) 行動指針

- ア 利用者の尊厳を大切にし、適切な環境のもとそれぞれの能力と特性に応じた支援を行います
- イ 就労や生産活動の機会を適切かつ効果的に提供し、働く喜びや楽しみを共に分かちあいます。
- ウ 福祉的な就労の場、日中活動の場として、一人一人が地域社会で生き生きと生活できるよう支援します。
- エ 法令遵守はもとより、研修会や講習会などに積極的に参加して自己研鑽に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者主体の活動	・流れ作業の中でそれぞれが得意なところで作業できるように仕組み作りを行い利用者だけの作業環境が出来るようになりました。(例：鉢上げ作業～ポット土入れ、苗植え付け、置き肥等)
	物品・役務の質の向上	・平均工賃17,479円(令和3年度の県内B型事業所平均工賃17,350円) ・本体でクラスター発生時、事業所を休止したことで前年度に比べ平均工賃が減少しました。
	就職活動	・令和4年度は就職者はいませんでした。元年度に就職された方は頑張って働かれています。 ・職場実習に行かれている方は現在2名
社会に対する基本姿勢	地域の美化協力、ごみ排出困難者支援	・令和5年度もふれあい収集事業の委託を受け事業継続となりました。 火曜日(惣川～野井川) 水曜日(野村町溪筋～下相、土居) ・企業、個人宅等の除草剪定等を請け負いました。
	地域行事への参加・協力	・地域のイベント等は感染対策の為参加できていません。 ・幼稚園との芋植え芋ほり交流会は屋外での活動だった為、感染対策を行いながら開催することができました。
福祉人材に対する基本姿勢	専門知識の習得(作業支援)	・園内研修等で専門知識の共有を図ることが出来ました。
	支援技術の向上	・園内研修や、毎月のスタッフ会等で支援の問題点等を話し合うことで情報の共有や支援力の向上をはかることができました。

区分	重点項目	令和4年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	経営に対する意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・農園芸は直接買い付けに来られる方がコロナ前に比べ少なかった印象で、産直への出荷を多くし対応しました。 ・外部作業は個人宅の依頼数が多く、地域貢献を含む活動ができました ・配食はコロナの影響等で原材料が徐々に上がっています。令和5年1月より普通400円、大430円に値上げしました。 ・農園芸で作った野菜を配食で積極的に使うことで新鮮な野菜を使った弁当の提供及び、支出軽減の両立ができました。
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・作物や弁当の品質向上を目指すことで利用者の工賃の低下を防ぐことが出来ました。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会の都度、虐待、モラル違反等について話し合いを行い各職員の意識向上に努めました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	春野菜・花苗販売 果物皮剥ぎ作業 (1月～6月)	成長支援～個人 目標設定	
5月	ふるさとづくり栽培管理 定期健診 (利用者・職員)		
6月	芋植え交流会	虐待チェックリ スト (1回目)	
7月	葉牡丹種まき		
8月			
9月	ふるさとづくり栽培管理	成長支援～個人 目標振り返り	
10月	幼稚園芋ほり交流 顧客満足度調査	成長支援～個人 目標設定 園内研修 (虐待 防止、感染症対 策)	
11月	玉葱苗販売 インフルエンザ予防接種 定期健診 (2回目)		
12月	大掃除 寄せ植え講習会 (阿下、商工会、 高山公民館)	園内研修 (強度 行動障害) 虐待チェックリ スト (2回目)	
1月	干し芋作り・販売 果物皮剥ぎ作業 (1月～6月)		

2月	野菜播種開始	園内研修（外部講師）	2/23付け利用者1名退所
3月	野菜接ぎ木		
毎月	スタッフ会 ふれあい収集（ごみ排出困難者支援：毎週火、水曜日）		
その他	※ 定期的に大洲・八幡浜圏域の就労支援事業所やハローワーク、就業・生活センター、共同受注窓口等、関係機関との連絡会等に参加し情報を共有している。 ※ 避難訓練～育成園と合同で実施		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用実人員	稼働率	契約利用者数
4	400	388	97.0%	20
5	380	374	98.4%	20
6	440	432	98.2%	20
7	400	380	95.0%	20
8	460	407	88.5%	20
9	400	386	96.5%	20
10	400	383	95.8%	20
11	220	214	97.3%	20
12	400	360	90.0%	20
1	380	324	85.3%	20
2	380	322	84.7%	20
3	440	344	78.2%	19
合計	4,700	4,314	91.8%	

年齢・性別状況 (R5年3月末現在)

	男性	女性
最少年齢	47歳7ヶ月	28歳5ヶ月
最高年齢	83歳1ヶ月	71歳10ヶ月
平均年齢	63歳2ヶ月	53歳5ヶ月
男女平均年齢	61歳7ヶ月	
性別	16名	3名
計	19名	

(5) 平均工賃

	あおぞら	愛媛県平均
前年度	19,140	17,350
今年度	17,479	

5. 相談支援事業所こすもす

(1) 行動指針

ア特定相談支援事業、障害児相談支援事業（西予市指定）

障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱えるニーズ及び地域課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細やかな支援を行います。

イ一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)（愛媛県指定）

長期入院、入所している方が地域生活へ移行するための支援や、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を行い、地域生活の継続を目指します。

ウ西予市委託相談支援事業

相談支援を通じ、西予市障害者(児)の生活の援助を行います。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	本人の思いを重視したサービス等利用計画の作成、モニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・面談、聞き取りにて利用者の方のニーズをしっかりと把握することで本人が安心して生活出来る計画の作成に努めました。 ・年間計画作成数：142件 ・個々に応じた定期的なモニタリングを行い、サービスの起動修正、見直し、支援体制、計画の変更など問題解決に努めました。また、サービス等利用計画に位置付けた福祉サービス事業所等を訪問しサービス提供場面を確認することにも努めました。 ・年間モニタリング作成数：473件 ・各市町や事業所と連携を図りながら、その方に合った福祉サービスへ繋げることが出来るよう支援に努めています。松山市1名、八幡浜市2名の方々を新たな事業所等へ繋ぎました。
	訪問相談	<ul style="list-style-type: none"> ・年度前期は特にコロナ禍の為定期的な自宅訪問が出来なかった為、電話で様子を伺い現状把握に努めました。問題や依頼があれば随時訪問させて頂き支援しています。 ・事業所の携帯電話にて24時間365日体制で受け付けています。休日や夜間なども電話相談にて対応できました。 ・年間相談件数：1,177人
社会に対する基本姿勢	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で各事業所を訪問することができなかったが、電話でサビ管と情報共有を行いました。また、地区担当保健師や医療機関とも連携を図り必要時にはカンファレンス開催し問題解決に努めました。 ・児童発達支援事業所、特別支援学校との連携を行い、本児及び保護者の意向を汲み取りながら、定期的な学校の進路学習会にも出席し、進路やサービス利用の相談等を行いました。
	自立支援協議会、基幹相談支援センターの整備に向けた動き	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月市役所にて実施されている西予市相談支援定例会に出席し、現状や困り事等の報告相談を行いました。今年度は自立支援協議会が開催されませんでした。基幹相談支援センターの体制整備については西予市が直営で行っていますが、相談支援定例会を部会と位置づけ相談支援事業所と横のつながりを強化することで対応していく予定です。

	重点項目	令和4年度取組報告
	法人後見事業の運用	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年11月に受任した方がR4年9月2日に亡くなられ、現在は受任0件となりました。 ・現在は松山家庭裁判所宇和島支部に相続財産管理人の選任をお願いしているところです。相続財産管理人が決定し、相続をすれば終了となります。
	精神保健関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜保健所から会議出席依頼があり医療機関や保健師との情報共有しました。精神科病院からグループホームや救護施設へ繋ぐため計画作成や情報提供を行いました。
福祉人材に対する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員 初任者研修と現任研修が新カリキュラムとなり、現任研修については過去5年間に2年以上の実務が必要となること、もしくは現に実務に従事していることが上げられるため相談支援専門員が限定してくるものと思われる。
	専門知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児支援者連絡会に参加しました。令和3年9月より医療的ケア児への支援体制整備が「努力義務」から「責務」とされ必要な施策が定められました。
マネジメントに対する基本姿勢	高齢化に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者の家族が高齢で共に支援が必要なケースが増えてきました。包括支援センターと連携をとりながら支援することができました。障害者支援施設入所者が介護認定を受けることができましたが介護施設へ移行するにはまだ課題が多くあります。
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・成長支援制度を取り入れて個人目標を立てて取り組みました。
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会にて法人理念、基本方針を唱和し周知を図りました。 ・虐待防止研修への参加 ・個人情報への取り扱いへの配慮に努めました。

(3)実施事業報告

月	業務内容	研修 (OJT)	その他
4月	年間を通じて、その都度、利用者に応じた支援を行う *計画立案、サービス担当者会議の開催 *状況に応じたモニタリングの実施 *関係機関との連絡調整 *制度についての理解を深める研修への参加 *自立支援協議会等への積極的な働きかけを行う	相談定期会議 (1/週) 園内研修(防火管理)	相談支援定例会
5月		相談定期会議	相談支援定例会 第1回関係機関連絡会議 (オンライン)
6月		相談定期会議 園内研修 (介護技術)	相談支援定例会(コロナ中止)
7月		相談定期会議	相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会 合同説明会 inなんよ
8月		相談定期会議 園内研修(ハラスメント)	相談支援定例会 第1回地域移行支援会議(ZOOM)
9月		相談定期会議	特別支援学校進路学習会 (1年) 特別支援学校進路学習会 (2年) 権利擁護研修 相談支援定例会(コロナ中止)
10月		相談定期会議 園内研修 (感染症予防)	相談支援定例会 西予市医療的ケア児等支援者連絡会
11月		相談定期会議	相談支援定例会 特別支援学校進路学習会 (3年) 精神障害者社会復帰連絡会
12月		相談定期会議 園内研修(コロナ中止)	相談支援定例会(コロナ中止) 八幡浜管内医療的ケア時支援者連絡会 西予市医療的ケア児等支援者連絡会 職場の困ったから学ぼうオンライン研修
1月		相談定期会議	相談支援定例会(コロナ中止)
2月		相談定期会議 園内研修(虐待)	ピアサポーター研修 相談支援定例会 県自立支援協議会
3月		相談定期会議	相談支援定例会 第2回地域移行支援会議 市医療的ケア児連絡協議会 管内医療的ケア児連絡協議会

*新型コロナウイルスの感染拡大防止にて中止になった研修会、会議もありました。

(R5. 3末現在)

事業	計画	モニタリング	契約者数
特定相談支援事業	137件	467件	230人
障害児相談支援事業	5件	6件	7人
西予市委託相談支援事業		延べ1,177人	
一般相談支援事業 (地域移行・地域定着)		0件	

6. 指定障害者支援施設野村学園

(1) 行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

(2) 事業報告

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	プライバシー保護について、さらなる工夫や配慮、プライバシー保護の観点を含め、組織的に標準的な実施方法の検証や見直しを行う仕組みを整備するとともに、様々な場面を想定した実施方法を見直すべく検討中の段階である。令和5年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	毎月日中活動予定表を作成し、計画的に活動していたが、児童部、成人部ともに新型コロナウイルスクラスターが発生し、寮閉鎖となった期間が多く、日中活動が出来ない状況もあった。
	個別支援の充実	想いマップ等を活用し本人の意向や家族の要望を確認しながら、ニーズに沿った個別支援計画を作成し、実施している。園内にて新型コロナウイルスクラスター発生もあり、外出や行事等に制限があるなかでも、楽しみのある生活が送れるよう、支援の充実を図り取り組んだ。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
	家族との信頼関係の構築	コロナ禍により、保護者のカンファレンス、行事等への参加は中止となっているが、各担当より月1回の定期的な連絡は継続しており、近況報告など行った。 3か月毎に家族へ郵送する出納帳コピー等の書類に、本人の写真入りの文書も送付している。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	2ヶ月に1回、野村学園周辺、ダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会で、参加・応援・ミストシャワーボランティアを行っていたが、4年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。 感染対策を強化しているため、その他の地域行事への参加も自粛していたが、参加人数を限定し、乙亥祭り外出を実施した。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。
	経営マネジメント	障害者支援施設2事業所は定員満床で安定した経営が出来ている。障害児入所施設は移行後、18歳までの通過施設となり、1名は移行完了したが、1名は移行先を検討中である。

(3) 行事報告 (指定障害者支援施設野村学園)

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会 四国種別部会代表者会議	広報誌発行
5月	焼肉大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 お楽しみ昼食 順風会健診 新型コロナウイルスワクチン接種 3回目接種 朝霧湖マラソン大会：中止 愛媛県障害者スポーツ大会：中止 南予ソフトボール大会：中止 ソフトボール大会(県予選)：中止	第1回園内研修会 ミュージックケア研修(初級)	第1回保護者会 役員会
6月	ボーリング大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 学校訪問(三崎・川之石高校) 参議院選挙期日前投票(12名) 南予バレーボール大会：中止	第2回園内研修会 強度行動障害支援者養成研修 (Web) ミュージックケア研修(初級) 介護福祉士実務者研修	保護者会総会 (書面決議)
7月	火災避難訓練及び消火訓練 県バレーボール大会：中止 CoCo壺カレーの日(昼食) お楽しみ昼食 お楽しみおやつ企画	強度行動障害支援者養成研修 四国地区施設長会議(Web) 成長支援評価者研修 ミュージックケア研修(初級) 安全運転管理者講習会 第1回経営青年部会 メンタルヘルス研修 リーダー研修会 第61回中国・四国地区知的 障害関係職員研修協議会 (Web)	
8月	夏祭り プール遊び：中止 お盆休み送迎サービス：中止 火災避難訓練及び消火訓練 夏休みチャレンジボランティア (野村中2名) おやつ作り	南予福祉施設会臨時理事会 (Web) 甲種防火管理新規講習 介護福祉士実務者研修 ハラスメント研修 (Web) 第3回園内研修会	
9月	芋炊き おやつ作り 火災避難訓練及び消火訓練	普通救命講習会(野村消防署) 「福祉の職場」中堅職員研修会 介護福祉士実務者研修 社会福祉簿記2級 愛媛県防災士養成講座 ネクストリーダー研修 第4回園内研修会	大瀬中学校交流 (ビデオレター) 広報誌発行

月	行 事	研修 (O J T)	その他
10月	夜間想定避難訓練及び消火訓練 南予福祉まつり；中止 今昔屋（おやつ） キッチンカーたこ焼き	介護福祉士実務者研修 育児介護休業研修会 （Web） 喀痰吸引等基本研修（Web） （Web） 経営青年部会 人権・同和教育指導者研修会 経営青年部会 第5回園内研修会	野村高校文化祭
11月	希望外出：中止 学園祭（成人部・児童部） 花火大会 こまどり号歯科検診 火災避難訓練及び消火訓練 乙亥祭外出 順風会健診	リスクマネージャ養成（Web） 南予職員合同研修会 西予市人権のつどい 成長支援アサーティブ研修 「福祉の職場」チームリーダー 研修会 第2回四国地区部会代表者会議 （Web） 松山東雲短期大学実習 喀痰吸引等基本研修（Web） メンタルヘルスセミナー 防災委員会研修会講演（Web） 第6回園内研修会	奉仕作業 子規記念博物館 版画展示 11/30児童部に てコロナ陽性 者発覚、クラ スター発生
12月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 イルミネーション点灯式：延期 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止 シェークアウトえひめ 第三者評価 インフルエンザ予防接種	全国児童発達支援施設運営協 議会（Web） リーダー研修会 四国地区知的障害関係職員 研修会（Web） 愛媛県障がい者虐待防止・権利 擁護セミナー 成長支援「アサーティブ研修」 門松作り	12/17児童部 クラスター レッドゾーン 対応解除
1月	初詣 火災避難訓練及び消火訓練	南予福祉施設会第2回理事会 成長支援「アサーティブ研修」 愛媛県障がい者虐待防止 ・権利擁護セミナー（Web） 第7回園内研修会 介護福祉士国家試験	広報誌発行
2月	節分豆まき おやつ作り 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種 4回目接種	喀痰吸引集合研修 リーダー研修会	2/10成人部 てコロナ陽性 者発覚、クラ スター発生
3月	火災避難訓練及び消火訓練	第8回園内研修会 成長支援オンライン巡回 リーダー研修会	3/2成人部 クラスター レッドゾーン 対応解除 第2回保護者会 役員会

毎月行事	※職員会、各寮会
	※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会（年4回）広報委員会（随時） 苦情解決虐待防止委員会（随時）

(4) 利用者利用状況等

○施設入所利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,192	99.3%	95.0%
5	1,240	1,223	98.6%	97.1%
6	1,200	1,189	99.0%	96.8%
7	1,240	1,212	97.7%	98.3%
8	1,240	1,202	96.9%	97.4%
9	1,200	1,143	95.2%	99.6%
10	1,240	1,238	99.8%	99.2%
11	1,200	1,159	96.5%	98.9%
12	1,240	1,209	97.5%	97.3%
1	1,240	1,237	99.7%	96.3%
2	1,120	1,120	100.0%	98.7%
3	1,240	1,236	99.6%	97.5%
合計	14,600	14,360	98.3%	97.7%

○生活介護利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	880	878	99.7%	95.0%
5	920	910	98.9%	97.2%
6	880	871	98.9%	97.0%
7	920	899	97.7%	98.5%
8	920	892	96.9%	97.4%
9	880	839	95.3%	99.5%
10	920	918	99.7%	98.8%
11	880	851	96.7%	98.8%
12	920	897	97.5%	98.6%
1	920	919	99.8%	98.5%
2	800	800	100.0%	98.9%
3	920	918	99.7%	97.5%
合計	10,760	10,592	98.4%	98.5%

入所者障害支援区分別

(R5年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	3	12	25

平均支援区分 5.55

男性 22名 女性 18名

平均年齢 48.8歳

7. 第二障害者支援施設野村学園

(1) 行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	プライバシー保護について、さらなる工夫や配慮、プライバシー保護の観点を含め、組織的に標準的な実施方法の検証や見直しを行う仕組みを整備するとともに、様々な場面を想定した実施方法を見直すべく検討中の段階である。令和5年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	毎月日中活動予定表を作成し、計画的に活動していたが、児童部、成人部ともに新型コロナウイルスクラスターが発生し、寮閉鎖となった期間が多く、日中活動が実施出来ない時期もあった。
	個別支援の充実	想いマップ等を活用し本人の意向や家族の要望を確認しながら、ニーズに沿った個別支援計画を作成し、実施している。新型コロナウイルスクラスターの発生時期は、外出制限等があり、主に施設内での個別支援の充実に取り組んだ。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
	家族との信頼関係の構築	コロナ禍により、保護者のカンファレンス、行事等への参加は中止となっているが、各担当より月1回の定期的な連絡は継続しており、近況報告など行った。3か月毎に家族へ郵送する出納帳コピー等の書類に、本人の写真入りの文書も送付している。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	2ヶ月に1回、野村学園周辺、ダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会で、参加・応援・ミストシャワーボランティアを行っていたが、4年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。感染対策を強化しているため、その他の地域行事への参加も自粛していたが、参加人数を限定し、乙亥祭り外出を実施した。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。

マネジメントに対する基本姿勢	経営マネジメント	障害者支援施設2事業所は定員満床で安定した経営が出来ている。障害児入所施設は移行後、18歳までの通過施設となり、1名は移行完了したが、1名は移行先を検討中である。
----------------	----------	---

(3) 行事報告 (第二障害者支援施設野村学園)

月	行 事	研修 (O J T)	その他
4月	利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会 四国種別部会代表者会議	広報誌発行
5月	焼肉大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 お楽しみ昼食 順風会健診 新型コロナウイルスワクチン接種 3回目接種 朝霧湖マラソン大会：中止 愛媛県障害者スポーツ大会：中止 南予ソフトボール大会：中止 ソフトボール大会(県予選)：中止	第1回園内研修会 ミュージックケア研修(初級)	第1回保護者会 役員会
6月	ボーリング大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 学校訪問(三崎・川之石高校) 参議院選挙期日前投票(12名) 南予バレーボール大会：中止	第2回園内研修会 強度行動障害支援者養成研修 (Web) ミュージックケア研修(初級) 介護福祉士実務者研修	保護者会総会 (書面決議)
7月	火災避難訓練及び消火訓練 県バレーボール大会：中止 CoCo壺カレーの日(昼食) お楽しみ昼食 お楽しみおやつ企画	強度行動障害支援者養成研修 四国地区施設長会議(Web) 成長支援評価者研修 ミュージックケア研修(初級) 安全運転管理者講習会 第1回経営青年部会 メンタルヘルス研修 リーダー研修会 第61回中国・四国地区知的 障害関係職員研修協議会(Web)	
8月	夏祭り プール遊び：中止 お盆休み送迎サービス：中止 火災避難訓練及び消火訓練 夏休みチャレンジボランティア (野村中2名) おやつ作り	南予福祉施設会臨時理事会 (Web) 甲種防火管理新規講習 介護福祉士実務者研修 ハラスメント研修 (Web) 第3回園内研修会	
9月	芋炊き おやつ作り 火災避難訓練及び消火訓練	普通救命講習会(野村消防署) 「福祉の職場」中堅職員研修会 介護福祉士実務者研修 社会福祉簿記2級 愛媛県防災士養成講座 ネクストリーダー研修 第4回園内研修会	大瀬中学校交流(ビデオター) 広報誌発行

月	行事	研修 (OJT)	その他
10月	夜間想定避難訓練及び消火訓練 南予福祉まつり：中止 今昔屋 (おやつ) キッチンカーたこ焼き	介護福祉士実務者研修 育児介護休業研修会 (Web) 喀痰吸引等基本研修 (Web) (Web) 経営青年部会 人権・同和教育指導者研修会 経営青年部会 第5回園内研修会	野村高校 文化祭
11月	希望外出：中止 学園祭 (成人部・児童部) 花火大会 こまどり号歯科検診 火災避難訓練及び消火訓練 乙亥祭外出 順風会健診	リスクマネージャ養成 (Web) 南予職員合同研修会 西予市人権のつどい 成長支援アサーティブ研修 「福祉の職場」チームリーダー 研修会 第2回四国地区部会代表者会議 (Web) 松山東雲短期大学実習 喀痰吸引等基本研修 (Web) メンタルヘルスセミナー 防災委員会研修会講演 (Web) 第6回園内研修会	奉仕作業 子規記念博物館版画展示 11/30児童部にて コロナ陽性者発覚、 クラスター発生
12月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 イルミネーション点灯式：延期 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止 シェークアウトえひめ 第三者評価 インフルエンザ予防接種	全国児童発達支援施設運営協議会 (Web) リーダー研修会 四国地区知的障害関係職員 研修会 (Web) 愛媛県障がい者虐待防止・権利 擁護セミナー 成長支援「アサーティブ研修」 門松作り	12/17児童部 クラスター レッドゾーン 対応解除
1月	初詣 火災避難訓練及び消火訓練	南予福祉施設会第2回理事会 成長支援「アサーティブ研修」 愛媛県障がい者虐待防止・ 権利擁護セミナー (Web) 第7回園内研修会 介護福祉士国家試験	広報誌発行
2月	節分豆まき おやつ作り 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種 4回目接種	喀痰吸引集合研修 リーダー研修会	2/10成人部 てコロナ陽性 者発覚、クラ スター発生
3月	火災避難訓練及び消火訓練	第8回園内研修会 成長支援オンライン巡回 リーダー研修会	3/2成人部 クラスター レッドゾーン 対応解除 第2回保護者会 役員会

毎月行事	※職員会、各寮会 ※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会（年4回） 広報委員会（随時） 苦情解決虐待防止委員会（随時）
------	--

(4) 利用者利用状況等

○施設入所利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	900	899	99.9%	100.0%
5	930	922	99.1%	100.0%
6	900	890	98.9%	97.5%
7	930	907	97.5%	88.5%
8	930	920	98.9%	93.3%
9	900	900	100.0%	95.7%
10	930	930	100.0%	96.2%
11	900	849	94.3%	95.7%
12	930	872	93.8%	91.9%
1	930	901	96.9%	91.6%
2	840	820	97.6%	94.8%
3	930	900	96.8%	96.7%
合計	10,950	10,710	97.8%	95.1%

○生活介護利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	660	660	100.0%	100.0%
5	690	684	99.1%	99.9%
6	660	653	98.9%	97.7%
7	690	673	97.5%	88.0%
8	690	683	99.0%	93.3%
9	660	641	97.1%	95.6%
10	690	670	97.1%	95.9%
11	660	605	91.7%	95.3%
12	690	630	91.3%	92.5%
1	690	653	94.6%	92.3%
2	600	567	94.5%	94.7%
3	690	667	96.7%	96.7%
合計	8,070	7,786	96.5%	95.1%

入所者障害支援区分別

(R5年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	2	5	23

平均支援区分 5.7

男性 22名 女性 8名

平均年齢 35.1歳

8. 障害児入所施設野村学園

(1) 行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	プライバシー保護について、さらなる工夫や配慮、プライバシー保護の観点を含め、組織的に標準的な実施方法の検証や見直しを行う仕組みを整備するとともに、様々な場面を想定した実施方法を見直すべく検討中の段階である。令和5年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	平日の学校がある時は参加できないが、長期休暇中等は参加することが出来ている。 児童部、成人部ともに新型コロナウイルスクラスターが発生し、寮閉鎖となった期間は、日中活動が出来ない状況もあった。
	個別支援の充実	思いマップ等を活用し本人の意向や家族の要望を確認しながら、ニーズに沿った個別支援計画を作成し、実施している。 園内にて新型コロナウイルスクラスター発生もあり、外出や行事等に制限があるなかでも、楽しみのある生活が送れるよう、支援の充実を図り取り組んだ。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
	家族との信頼関係の構築	コロナ禍により、保護者のカンファレンス、行事等への参加は中止となっているが、各担当より月1回の定期的な連絡は継続しており、近況報告など行った。 3カ月毎に家族へ郵送する出納帳コピー等の書類に、本人の写真入りの文書も送付している。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	2ヶ月に1回、野村学園周辺、ダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会で、参加・応援・ミスシャワーボランティアを行っていたが、4年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。 感染対策を強化しているため、その他の地域行事への参加も自粛していたが、参加人数を限定し、乙亥祭り外出を実施した。
	関係機関との連携強化	関係市町村及び福祉総合支援センター、相談支援専門員等との連携を図り、高等部卒業後の移行先を本人の望む生活に向けて検討を行っている。今年度は、2名の利用者が卒業し、1名の利用者は障害者支援施設へ移行することが出来た。1名は移行先を検討中である。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。
	経営マネジメント	障害者支援施設2事業所は定員満床で安定した経営が出来ている。障害児入所施設は移行後、18歳までの通過施設となり、1名は移行完了したが、1名は移行先を検討中である。

(3) 行事報告 (障害児入所施設野村学園)

月	行 事	研修 (O J T)	その他
4月	新型コロナウイルスワクチン接種 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会(書面決議) 四国種別部会代表者会議	広報誌発行
5月	焼肉大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 朝霧湖マラソン大会:中止 愛媛県障害者スポーツ大会:中止 南予ソフトボール大会:中止 ソフトボール大会(県予選):中止 新型コロナウイルスワクチン接種 順風会健診	第1回園内研修会 ミュージック・ケア研修(初級)	第1回保護者 会役員会
6月	学校訪問(三崎・川之石高校) 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種 南予バレーボール大会:中止	第2回園内研修会 強度行動障害支援者養成研修 (Web) ミュージックケア研修(初級) 介護福祉士実務者研修	保護者会総会 (書面決議)
7月	火災避難訓練及び消火訓練 県バレーボール大会:中止 CoCo菘カレーの日(昼食) お楽しみ昼食 学童外出	強度行動障害支援者養成研修 四国地区施設長会議(Web) 成長支援評価者研修 ミュージックケア研修(初級) 安全運転管理者講習会 第1回経営青年部会 メンタルヘルス研修 リーダー研修会 第61回中国・四国地区知的 障害関係職員研修協議会(Web)	
8月	プール遊び:中止 夏祭り お盆休み送迎サービス:中止 火災避難訓練及び消火訓練 おやつ作り 夏休みチャレンジボランティア(野村中2名)	南予福祉施設会臨時理事会 (Web) 甲種防火管理新規講習 介護福祉士実務者研修 ハラスメント研修(Web) 第3回園内研修会	
9月	芋炊き(児童部) 火災避難訓練及び消火訓練	普通救命講習会(野村消防署) 「福祉の職場」中堅職員研修会 介護福祉士実務者研修 社会福祉簿記2級 愛媛県防災士養成講座 ネクストリーダー研修 第4回園内研修会	大瀬中学校 交流 (ビデオレター) 広報誌発行

月	行事	研修 (OJT)	その他
10月	夜間想定避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種 南予福祉まつり：中止 お祭り（園内にて） 学童外出	介護福祉士実務者研修 育児介護休業研修会 (Web) 喀痰吸引等基本研修 (Web) 経営青年部会 人権・同和教育指導者研修会 経営青年部会 第5回園内研修会	野村高校 文化祭
11月	順風会健診 学園祭（成人部・児童部） 花火大会 新型コロナウイルスワクチン接種 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練 乙亥祭外出	リスクマネージャ養成 (Web) 南予職員合同研修会 西予市人権のつどい 成長支援アサーティブ研修 「福祉の職場」チームリーダー研修会 第2回四国地区部会代表者会議 (Web) 松山東雲短期大学実習 喀痰吸引等基本研修 (Web) メンタルヘルスセミナー 防災委員会研修会講演 (Web) 第6回園内研修会	奉仕作業 子規記念博物館版画展示 11/30児童部にてコロナ陽性者発覚、クラスター発生
12月	第三者評価 火災避難訓練及び消火訓練 イルミネーション点灯式：延期 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止	全国児童発達支援施設運営協議会 (Web) リーダー研修会 四国地区知的障害関係職員研修会 (Web) 愛媛県障がい者虐待防止・権利擁護セミナー 成長支援「アサーティブ研修」 門松作り	12/17児童部 クラスター レッドゾーン 対応解除
1月	初詣 火災避難訓練及び消火訓練 利用者・職員健康診断：中止	南予福祉施設会第2回理事会 成長支援「アサーティブ研修」 愛媛県障がい者虐待防止・権利擁護セミナー (Web) 第7回園内研修会 介護福祉士国家試験	広報誌発行
2月	節分豆まき 火災避難訓練及び消火訓練 おやつ作り	喀痰吸引集合研修 リーダー研修会	2/10成人部にてコロナ陽性者発覚、クラスター発生
3月	火災避難訓練及び消火訓練	第8回園内研修会 成長支援オンライン巡回 リーダー研修会 リーダー研修会	3/2成人部 クラスター レッドゾーン 対応解除 第2回保護者会 役員会
毎月行事	※職員会、各寮会 ※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会（年4回）広報委員会（随時） 苦情解決虐待防止委員会（随時）		

(4) 障害児入所施設利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	270	90.0%	81.8%
5	310	279	90.0%	84.5%
6	300	270	90.0%	81.8%
7	310	282	90.9%	93.2%
8	310	279	90.0%	90.0%
9	300	270	90.0%	90.0%
10	310	279	90.0%	90.0%
11	300	270	90.0%	86.6%
12	310	279	90.0%	87.7%
1	310	279	90.0%	88.0%
2	280	252	90.0%	99.6%
3	310	279	90.0%	100.0%
合計	3,650	3,288	90.0%	98.8%

(R5年3月末現在)

男性 8名 女性 1名

平均年齢 12.2歳

9. 放課後児童健全育成事業所のむらキッズ・しろかわキッズ

(1) 行動指針

- ア 児童の健全な育成を図るための支援ができるよう、児童の気持ちを理解しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 児童・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・ 家族に対する基本 姿勢	職務遂行に必要な知識・技術の習得、資質向上	放課後児童支援員資質向上研修に参加したり、救命講習や不審者対応の研修を行い、保護者も子どもたちも安心して利用できる事業所になるよう職員の資質向上を図った。
	活動内容の充実	例年行われているレインボーフェスタは中止されたが、夏休みには川遊びと、夏祭りを実施した。コロナ禍の中での取組であったため感染対策に努め実施することができた。子どもたちがとても喜んでおり楽しい時間を過ごすことができたと思う。
	保護者との信頼関係の構築	毎月キッズ便りを発行し、キッズの情報を保護者に伝えると共に、ご家族が来所された時に児童の様子を伝えて情報交換を行った。
	安全な環境の提供	新型コロナウイルス感染症への対策として基本的対策（マスクの着用・換気・手洗い）の徹底にも務めた。室内外及び生活用品、玩具等の消毒作業を開所日には実施した。必要に応じて草刈り作業や危険個所の点検を行った。
社会に対する基本 姿勢	放課後児童健全育成事業の理解と周知を図る	ホームページの更新が少なく定期的に更新することが出来なかった。
	市や関係他機関との連携を図る	小学校との情報交換会はコロナ禍ということもあり実施できなかったが、個人の児童のことでは相談に乗って頂き情報を共有することができた。また、西予市福祉総合相談センターとも情報共有することができた。 西予市放課後子ども総合プラン運営委員会に参加し、他機関との情報交換を行った。
福祉人材に対する基本 姿勢	児童福祉施設最低基準38条に基づく有資格者の確保	有資格者の職員を確保することは出来なかった。
	児童支援員の確保	令和4年度は該当者なし
マネジメントに対する基本 姿勢	協会理念の周知徹底	職員会等を通じて、理念、基本姿勢の周知を行った。 守秘義務や個人情報適切に扱い、事業の社会的責任や公共性を自覚できるように努めました。

(3) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所のむらキッズ)

月	行 事	研修 (O J T)	その他
4月			
5月			保護者会総会：中止（書面決議）
6月		救命救急講習	
7月			放課後子ども総合プラン運営委員会（中止）
8月	川遊び・夏祭り		
9月			
10月			
11月		放課後児童支援員資質向上研修 不審者対応研修	
12月	大掃除		
1月	おたのしみ会		
2月			新入学児募集説明会 西予市子ども子育て会議
3月			放課後子ども総合プラン運営委員会
毎月	避難訓練	職員会	キッズ便り発行

(4) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所しろかわキッズ)

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月			
5月			保護者会総会：中止（書面決議）
6月		救命救急講習	
7月			放課後子ども総合プラン運営委員会（中止）
8月	川遊び・夏祭り		保護者会による草刈り作業実施
9月			
10月			
11月		放課後児童支援員資質向上研修 不審者対応研修	
12月	大掃除		
1月	おたのしみ会		
2月			新入学児募集説明会 西予市子ども子育て会議
3月			放課後子ども総合プラン運営委員会
毎月	避難訓練	職員会	キッズ便り発行

(5) 利用者状況等

のむらキッズ

1、利用学童数 (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年度	990	819	908	878	710	686	881	839	848	778	690	862
4年度	820	766	889	759	729	661	680	690	599	526	673	792
											合計	
											3年度	9,889
											4年度	8,584

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
3年度	男児	7	6	5	3	0	0	21
	女児	11	6	8	9	3	0	37
	合計	18	12	13	12	3	0	58
4年度	男児	7	4	6	4	3	0	24
	女児	6	10	3	5	8	2	34
	合計	13	14	9	9	11	2	58

しろかわキッズ

1、利用学童数 (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年度	184	157	167	146	144	113	143	139	137	124	119	122
4年度	164	180	205	183	185	205	211	209	131	174	192	205
											合計	
											3年度	1,695
											4年度	2,244

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
3年度	男児	2	5	0	2	1	0	10
	女児	1	1	0	2	0	0	4
	合計	3	6	0	4	1	0	14
4年度	男児	3	2	4	0	1	0	10
	女児	1	1	1	0	0	0	3
	合計	4	3	5	0	1	0	13

XIII 事業所別事業報告

【高齢者福祉部会】

令和4年度も新型コロナウイルス感染症という脅威が継続し、利用者様の生活様式に大きな影響が続いた一年となりました。高齢者施設の4施設中3施設に集団感染が発生し、感染対策中は、ご入所者様、ご家族様には多大なるご迷惑をお掛けいたしました。

それに伴い、短期入所生活介護、通所介護のサービスも利用中止となり、在宅で生活されているご利用者様のサービス低下を招いてしまいました。

今月より、感染症分類上2類相当から5類になり、感染レベルは下がりますが、今までの教訓を生かし、利用者様の安心・安全な生活のために、引き続き感染対策に万全を期してまいりたいと思います。それと合わせて、BCP計画の見直しや、有事の際の備えを確実に行っていきたいと思っております。

このコロナ禍は施設運営にも大きな影響を及ぼしました。集団感染による各サービスの稼働率低下、それに伴う収入減、それと相まって燃料費、光熱費等の物価高騰もあり、厳しい施設運営を強いられることとなりました。

今後は、各施設が現状を把握し、安定したサービス提供、計画的な施設整備、将来を見据えた上での業務改善、経営改善等行っていきたいと思っております。

令和2年度から取り組んでいる介護技能実習生の受入れですが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、受け入れ出来ませんでした。令和4年度には、無事に7月に第2期生、第3期生の4人を迎えることが出来ました。入職して、10ヶ月が経過しましたが、それぞれの施設で、何事にも真摯な態度で、前向きに取り組んでいただいております。協会の大切な人財である第1期生を含めた技能実習生8人の成長を支えながら、継続的な受入れに向けた基盤作りに努めてまいりたいと考えております。

1. 特別養護老人ホーム法正園

(1) 行動指針

「あなたの笑顔が私の笑顔です」

①人権の尊重

わたしたちは、利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、安心できる生活環境を創出します。

②人材育成

わたしたちは、常に知識とスキルの向上を目指し、感謝の気持ちと笑顔を絶やすことなく自らを成長させることのできる職場作りに努めます。

③地域への貢献

わたしたちは、社会事業を通して、地域の人々が安心して住み続けられる社会づくりに貢献します

(2) 事業報告

区分	取組み(詳細)	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。 ・身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、問題ありませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「満足度向上」を施設目標とし、各ユニットや部署で取り組みました。入居者及び家族に対してサービス満足度調査を実施しました。概ね満足していただいています。 ・毎月請求書等送付する文書に、各担当が手書きで近況を伝えたり、写真を同封する取り組みを行いました。 ・コロナ禍でも状況に応じた面会を実施したりリモート面会を実施し、家族との関係の継続に努めました。 ・介護相談員もコロナ禍で実施されませんでした。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、介護講座や夕涼み会、保育所との交流はできませんでしたが、地域のボランティアは継続して受け入れ花壇整備や車椅子の清掃など直接入居者と関わらずにできることを取り組んでもらいました。 ・奉仕作業で地域の農道周辺の草刈りや清掃を行いました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子は、モジュール型車椅子1台、フルリクライニング車椅子等1台購入しました。 ・居室の照明器具を一部LED照明に買い換え、調光機能により利用者に合わせた明るさに調節しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人減免の対象者は、年度途中まで1名利用されていきました。 ・なごみホールの地域開放として、西予市社会福祉協議会の規制緩和通所事業に週3日6か月間貸し出しました。 ・ボランティアは、西予市社会福祉協議会と協力して「西予市生き生きシニアポイントモデル事業」参加者や野村地域婦人会を受け入れました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌は3回発行しました。 ・ホームページのブログについては、随時更新しました。

福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。 ・各種マニュアルの見直しを継続して実施しています。
	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人技能実習生としてミャンマーから2名受入れており介護技術や日本語の指導、生活支援等を行っています。 ・夏休みチャレンジボランティアの受入れは、入所者様との接触を避ける形で受入れを行いました。 ・野村高校出前講座はコロナ禍で中止しましたが、高校1年生に対してリモートで福祉の授業を行ったり、リクルート活動を行いました。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末でのリモート朝礼等を導入していたことで感染時にスムーズに業務連絡を取り合うことができました。 ・入浴方法の見直しを随時行い、特殊浴や個浴からリフト浴に変更することで、介護職員の負担を軽減することができました。 ・健康診断とストレスチェックを実施しました。 ・職員互助会は、全ての予定が中止となりました。 ・外国人技能実習生の日本語学習を支援し、日本語検定N3を1名(計2名)取得することができました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。 ・各研修については、リモート研修を中心に受講しました。 ・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 ・介護技術伝達講習に1名参加し、施設内で介護教室(介護マイスター)を行いました。 ・ユニットリーダー研修を2名受講し、実地研修は1名実施することができました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の減少とスムーズな入所で稼働率98%を達成し、介護報酬を増やすことができました。 ・口腔ケア加算は、感染対策期間で歯科医が来園できなくても書面等でやり取りを行い、加算を継続することができました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
4月	非常連絡訓練	新任職員研修 個人情報保護研修 成長支援目標設定研修	職員等無料抗原検査
5月	健康診断 家族会総会(集合) 西予老協合同遠足(中止)	口腔ケア研修 夜間緊急時対応研修 新規採用職員研修	広報誌発行第252号 事業所合同入職式 南予老協総会 看護職員認知症研修会
6月	土砂災害避難訓練 保育所交流会(中止)	コロナ感染予防研修 食中毒予防研修 新規採用職員研修	
7月	火災避難・消火訓練 コロナワクチン接種	ユニットケア研修 看取りケア研修 新規採用職員研修	介護ロボット導入・活用セミナー 社会福祉法人会計研修 県老協Web研修 社協チャレンジボランティア受入 なごみ浴室エアコン設置工事

月	行事	研修 (OJT等)	その他
8月	夏まつり(園内のみ)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 ネクストリーダー研修	愛媛県老人福祉施設大会 (Web) 県社協食事・排泄研修 防火管理者講習会 社協チャレンジボランティア受入 なごみホール床修繕工事
9月	秋の法要	事故防止研修 ネクストリーダー研修	県社協研修3研修 安全対策担当者養成研修 ポジショニングWeb研修 なごみホール床清掃ワックス掛け
10月	敬老会 西予老協利用者交流会 原子力避難訓練 防火扉点検 夜間想定避難訓練	救命救急講習(中止)	顧客満足度調査 奉仕作業 喀痰吸引研修 野村高校1年生就業体験 ビジネスフォン機器入替工事
11月	インフルエンザ予防接種	コロナ感染症対策研修 感染症BCP研修	広報誌発行第253号 西予市社会福祉大会 ユニットリーダー研修 喀痰吸引研修 技能実習生指導員研修 ノーリフティング研修
12月	クリスマス会(各ユニット) 夜勤者健診 シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 大掃除(ボラ参加)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 認知症ケア研修 リーダー研修 成長支援研修	技能実習責任者研修
1月	お年とり	褥瘡対策研修 ポジショニング研修	コロナ感染
2月	節分行事(各ユニット) コロナワクチン接種 オンラインレク利用開始	事故防止研修 個人情報保護研修 ハラスメント防止研修	喀痰吸引等基本研修(演習) 防災研修 ユニットリーダー実地研修 技能実習監査 八幡浜保健所厨房立入検査
3月	春の法要 避難・消火訓練	今年度運営状況発表 成長支援実績報告 リーダー研修	広報誌発行第254号 倫理・身体拘束・虐待防止研修
毎月	職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サービス、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、入所検討委員会(4、7、10、1月) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、OJT委員会 セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(月・金)、あかし歯科検診(毎月1回)		
随時	各ユニット食事会(誕生会)、行事食、地域行事外出、里帰り、交流会 感染対策委員会、避難訓練、各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,451	96.7%	97.7%
5	1,550	1,536	99.1%	95.4%
6	1,500	1,481	98.7%	96.7%
7	1,550	1,532	98.8%	97.5%
8	1,550	1,538	99.2%	98.1%
9	1,500	1,496	99.7%	91.8%
10	1,550	1,550	100.0%	93.0%
11	1,500	1,488	99.2%	98.9%
12	1,550	1,513	97.6%	96.6%
1	1,550	1,497	96.6%	96.6%
2	1,400	1,382	98.7%	94.5%
3	1,550	1,542	99.5%	94.4%
合計	18,250	17,811	98.7%	95.9%

利用者要介護度別

(R5年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	1	5	19	25

平均介護度 4.28 (前年度 4.36)

男性 13名 女性 37名

平均年齢 89.6歳

2. 短期入所生活介護事業所法正園

(1) 行動指針

在宅要介護高齢者の利用ニーズに応えるため、利用者主体のサービスを念頭に居宅介護支援事業者や家族との緊密な連携に努めます。また、サービスを提供することにより、家族の身体的精神的負担の軽減を図るとともに利用者の社会的孤立感を解消し、生活の助長を図ることを目的とします。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。 ・身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、問題ありませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「満足度向上」を施設目標とし短期入所利用者の支援を行いました。利用者及び家族に対してサービス満足度調査を実施しました。概ね満足していただいています。 ・利用者の自宅居室に近いレイアウトや生活の流れに合わせて対応し、居心地よく過ごしていただきました。 ・利用開始前日に体調伺いの連絡を行い、迎え時に検温を実施しました。 ・介護相談員もコロナ禍で実施されませんでした。
	家族との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用される前日には電話連絡し、健康状態や家族の行動等把握し感染対策を行いました。 ・送迎時間等確認し、家族に合わせ柔軟に対応しました。 ・家族や居宅ケアマネと連携を密にし、できるだけ家庭と同じ対応を行いました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家族等を対象にした、介護に関する講習会を計画していましたが、コロナ禍で実施できませんでした。 ・保育所等との交流会を計画しましたが中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用される居室を自宅居室に近いレイアウトにするために畳や低床ベッド、ポータブルトイレ等準備し、環境作りを行いました。 ・居室の照明器具を一部LED照明に買い換え、調光機能により利用者に合わせた明るさに調節しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人減免の対象者はいませんが、緊急受入などには対応しました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌は3回発行しました。 ・ホームページのブログについては、随時更新しました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。 ・各種マニュアルの見直しを継続して実施しています。
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みチャレンジボランティアは、利用者との接触を避ける形で受入れを行いました。 ・野村高校出前講座はコロナ禍で中止しました。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末でのリモート朝礼等を導入していたことで感染時にスムーズに業務連絡を取り合うことができました。 ・健康診断とストレスチェックを実施しました。

福祉人材に対する基本姿勢	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。 ・各研修については、リモート研修を中心に受講しました。 ・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 ・介護技術伝達講習に1名参加し、施設内で介護教室（介護マイスター）を行いました。 ・ユニットリーダー研修を2名受講し、実地研修は1名実施することができました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・適正収益の確保のため、各居宅支援事業と連絡を密にとりキントーンでの情報提供等を行い、利用スケジュールの調整や入居施設の空床利用の促進等行いましたが、施設内のコロナ感染で受入れができない期間があり、稼働率が低くなりました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
4月	非常連絡訓練	新任職員研修 個人情報保護研修 成長支援目標設定研修	職員等無料抗原検査
5月	健康診断	口腔ケア研修 夜間緊急時対応研修 新規採用職員研修	広報誌発行第252号 事業所合同入職式 南予老協総会 看護職員認知症研修会
6月	土砂災害避難訓練 保育所交流会(中止)	コロナ感染予防研修 食中毒予防研修 新規採用職員研修	
7月	火災避難・消火訓練 コロナワクチン接種(職員)	ユニットケア研修 看取りケア研修 新規採用職員研修	介護ロボット導入・活用セミナー 社会福祉法人会計研修 県老協Web研修 社協チャレンジボランティア受入
8月	夏まつり(園内のみ)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 ネクストリーダー研修	愛媛県老人福祉施設大会(Web) 県社協食事・排泄研修 防火管理者講習会 社協チャレンジボランティア受入
9月	秋の法要	事故防止研修 ネクストリーダー研修	県社協研修3研修 安全対策担当者養成研修 ポジショニングWeb研修
10月	敬老会 西予老協利用者交流会 原子力避難訓練 防火扉点検 夜間想定避難訓練	救命救急講習(中止)	顧客満足度調査 奉仕作業 喀痰吸引研修 野村高校1年生就業体験 ビジネスフォン機器入替工事
11月	インフルエンザ予防接種(職員)	コロナ感染症対策研修 感染症BCP研修	広報誌発行第253号 西予市社会福祉大会 ユニットリーダー研修 喀痰吸引研修 ノーリフティング研修

月	行事	研修 (OJT等)	その他
12月	クリスマス会(各ユニット) 夜勤者健診(職員) シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 認知症ケア研修 リーダー研修 成長支援研修	
1月	お年とり	褥瘡対策研修 ポジショニング研修	法正園コロナ感染で受入中止
2月	節分行事(各ユニット) コロナワクチン接種(職員) オンラインレク利用開始	事故防止研修 個人情報保護研修 ハラスメント防止研修	喀痰吸引等基本研修(演習) 防災研修 ユニットリーダー実地研修 八幡浜保健所厨房立入検査
3月	避難・消火訓練	今年度運営状況発表 成長支援実績報告 リーダー研修	広報誌発行第254号 倫理・身体拘束・虐待防止研修
毎月	職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サービス、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、合同職員会(2ヶ月毎) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、OJT委員会 セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進)		
随時	各ユニット食事会(誕生会)、行事食、交流会 感染対策委員会、避難訓練、各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練		

(4) 利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者人数	稼働率	前年度稼働率
4	120	99	82.5%	92.5%
5	124	107	86.3%	93.5%
6	120	112	93.3%	105.0%
7	124	87	70.2%	109.7%
8	124	98	79.0%	87.9%
9	120	88	73.3%	85.0%
10	124	106	85.5%	83.9%
11	120	96	80.0%	89.2%
12	124	123	99.2%	101.6%
1	124	64	51.6%	80.6%
2	112	106	94.6%	62.5%
3	124	107	86.3%	75.0%
合計	1,460	1,342	81.8%	88.9%

利用定員 4名
平均介護度 2 (R5年3月末現在)
2.7 (前年度)

3. デイサービスセンターふれあい事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

- ア 私たちは、利用者様の満足度向上に努力します。
- イ 私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊かにします。
- ウ 私たちは、一人ひとりの力を組織の力に結集させます。
- エ 私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します。
- オ 私たちは、地域の社会資源として、生きがいを提供します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。虐待については問題ありませんでした。
	サービスの質の向上	・「満足度向上」を施設目標とし利用者の支援を行いました。利用者及び家族に対してサービス満足度調査を実施したり利用者さんからの意見を参考にしサービスの改善を行いました。 ・介護相談員もコロナ禍で実施されませんでした。 ・リモートで行われた外部研修に参加しました。
	地域との関係向上	・幼稚園との交流やチャレンジボランティア、学生の実習生受け入れ等、少しずつ再開しています。
	生活環境・利用環境の向上	・10月より法正園なごみホールへ移転し、利用環境の整備を行いました。 ・移転時にリフト浴機器を新しくし、安心して利用できる環境を整えました。
社会に対する姿勢	地域における公益的な取組	・お試し利用や社会福祉法人減免など利用してもらうことで公益的な取組を行いました。
	情報発信	・年4回の広報誌を発行。利用中の様子等をご家族へ紹介しました。また移転後、法正園なごみホールの写真を掲示し、新しいデイサービスの紹介を行いました。
福人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	・職員会時に理念を唱和し理念の徹底を図りました。 ・マニュアルの見直しを行いました但不十分なため継続的に行って行きます。
	人材の確保	・夏休みチャレンジボランティアは、利用者との接触を避ける形で受入れを行いました。
	人材の定着	・エルダー制を導入し新人育成に取り組む事ができました。 ・介護技術の講習にも参加し介護技術の向上を図ることができました。
	人材の育成	・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 ・リモートで行われた外部研修に参加しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	・令和4年度より週5日営業に変更したため営業日が減ったため介護報酬は減収となりましたが、人員削減による人件費支出の削減や移転による家賃支出の削減、車両を法正園と共有することで2台削減し、支出を減らすことができました。

(3) 実施事業

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見外出(中止)	新任職員研修 個人情報保護研修 成長支援目標設定研修	
5月	健康診断(職員)		
6月		コロナ感染予防研修 食中毒予防研修	野村幼稚園交流会
7月	七夕飾り コロナワクチン接種(職員)		日本理学療法学会研修大会
8月	夏行事(かき氷)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	社協チャレンジボランティア受入
9月			愛大在宅生活支援実習受入 リフト浴機器・ガス乾燥機設置 特浴機器移設工事 デイ広報誌発行
10月	デイサービス移転	救命救急講習(中止)	顧客満足度調査 車輛2台法人内移管
11月	亥の子(中止) 乙亥祭り(中止) インフルエンザ予防接種		職員ストレスチェック
12月	クリスマス会	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	
1月	初詣外出(中止)		デイ広報誌発行 法正園コロナ感染で縮小営業
2月	節分行事 オンラインレク利用開始		
3月	ひな祭り お花見ドライブ	今年度運営状況発表 成長支援実績報告	避難訓練 デイ広報誌発行 愛媛県理学療法士会学会集会
毎月	運営委員会・職員会・誕生会		
随時	担当者会議(カンファレンス)・法人委員会		
毎日	ラジオ体操・ADL体操・認知症予防体操・口腔体操		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	609	436	71.6%	68.2%
5	609	437	71.8%	63.9%
6	638	470	73.7%	60.7%
7	609	441	72.4%	63.9%
8	667	463	69.4%	57.0%
9	609	420	69.0%	62.7%
10	609	450	73.9%	66.0%
11	638	464	72.7%	67.8%
12	609	432	70.9%	63.3%
1	609	388	63.7%	57.2%
2	580	428	73.8%	58.2%
3	667	490	73.5%	60.5%
合計	7,453	5,319	71.4%	62.5%

利用定員 29名

1日平均利用 20.7人 (前年度 18.1人)

営業日 月曜日から金曜日の週5日(元日、1月2日は除く)

介護度状況 (令和5年3月末現在)

介護度状況 (令和5年3月末現在)					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
21	7	11	1	0	9	15

平均介護度 1.3 (昨年度 1.6)

男性 16名 女性 48名

平均年齢 88.5歳

4. 居宅介護支援事業所ふれあい事業報告

(1) 行動指針

- ①利用者の心身の状況、生活歴、環境等の把握を十分に考慮し、自立した日常生活が送れるよう個別ケアを行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援します。
- ③行政、地域包括支援センター、介護保険施設等との連携に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・外部、内部の権利擁護・倫理研修会等に参加しました。
	サービスの質の向上	・個別ケアを意識した関わりやケアプラン作成、また自立支援プラン作成を実施しました。 ・事業所内で見直しや、意見交換を実施しています。 ・個別ケア、自立支援に関するケアマネジメント研修等に参加しています。
	地域との関係の向上	・独居や高齢世帯、障がい者世帯等、必要なケースにおいて、民生委員、障害者事業所等と連携を取り地域との関わりを大切にした支援を実施し情報共有を行いました。 ・ガイドブックを参考に、社会資源の把握や活用に努めました。
	利用環境の向上	・緊急要件に対応できるよう事業所の携帯電話を活用して当番で夜間や休日も対応している。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・地域包括ケアシステム構築のため、介護医療との連携、地域との連携を実施しました。 ・多職種、専門職との連携を図りチームでの支援を実施しました。
	情報発信	・要介護者等が適切な介護サービスを選択出来るよう、介護サービス情報公表報告システムで、情報を公表しています。
福祉人材に対する基本姿勢	人材マネジメント	・理念の周知徹底を実施しています。
	人材の定着	・相談や情報共有情報交換を行い、困難事例等1人で抱えずストレスに繋がらないよう留意しています。 ・定例会にて意見等出し合って業務の見直しを行い、職員の負担軽減に努めています。
	人材の育成	・成長支援制度、各種研修会、介護支援専門員会、主任介護支援専門員会等へ参加し質の向上やステップアップを実施しています。 ・計画的に介護支援専門員更新研修を受講しました。 ・介護支援専門員実務研修の見学実習を受け入れました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。 ・介護保険制度の周知等行い、法令を遵守し適正なケアマネジメント、運営を行っています。 ・保険者による実地指導、ケアプランチェックがありましたが、特に指摘事項はありませんでした。
	健全な財務規律の確立	・受託件数が増加し介護報酬が増えました。(前年比)

毎月の業務

介護保険事業所連絡会	提供票交換会・各事業所情報交換
西予市介護支援専門員連絡会	勉強会、情報交換（偶数月）
主任ケアマネ連絡会	勉強会、情報交換（奇数月）
国保事務請求	給付管理・介護給付費請求事務
自宅訪問	本人の様子観察・家族本人の要望等の把握（最低月1回）
利用票・提供票の作成	次月の利用票・提供票の作成
利用票の配布	利用者・家族に利用票の配布・捺印を頂く
提供票の配布	各事業所に提供票の配布
モニタリング	各利用者のモニタリング（月1回）
介護支援経過の記録	各利用者の支援記録
病院との連携	野村病院週1回（木）カンファレンス出席 その他の病院は、随時訪問 入院時等、医療介護連携シートの提出
事業所内の伝達等会議の開催	週1回開催
各種勉強会、研修会への出席	ケアマネ研修、居宅介護支援に関する研修他

(3) 利用者利用状況等

月	介護保険				介護予防			
	男	女	計	居宅介護支援費	男	女	計	介護予防委託料
4	22	52	74	1,104,960	5	14	19	89,220
5	24	52	76	1,134,220	5	15	20	93,600
6	25	52	77	1,145,070	5	15	20	87,600
7	25	54	79	1,180,990	4	14	18	78,840
8	23	52	75	1,118,590	3	14	17	74,460
9	27	53	80	1,186,840	3	14	17	74,460
10	24	51	75	1,120,030	3	14	17	74,460
11	26	59	85	1,283,190	3	13	16	70,080
12	26	54	80	1,190,500	3	11	14	65,700
1	27	52	79	1,190,650	2	11	13	56,940
2	26	54	80	1,201,060	3	12	15	65,700
3	27	55	82	1,230,980	3	12	15	65,700
総計	302	640	942	14,087,080	42	159	201	896,760
	前年度 13,694,220				前年度 682,080			

居宅介護支援利用者介護度別 (R5年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
11	4	33	25	11	11	2

*要支援1は、総合事業事業対象者も含む。

5. 特別養護老人ホームしいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人やご家族より生活歴や好みを聴き、支援や普段の会話にいかせるよう努めました。 ・その都度、自己決定・自己選択を促すような声掛け介助を行い、ひとりひとりに寄り添う支援に努めました。 ・介護、看護、生活相談員、施設ケアマネ等が連携し、個別ケアの充実を図りました。 ・「虐待防止チェックリスト」を実施し、自分自身の行動を振り返ることが出来ました。また、定期委員会を含め見えてきた課題を検討し虐待防止に努めました。 ・コロナ禍の影響で、帰宅や外出等の利用者様の思いを実現する支援は出来ませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に受審した第三者評価の結果を踏まえた検証と改善については、十分に出来ておらず引き続きの取組が必要です。 ・「顧客満足度調査」を実施し、アンケート結果や意見をもとに解決に努めました。 ・業務改革等の委員会において、部分的な業務手順等の見直しを行い、サービスの向上に努めました。 ・家族との連絡については、その都度の電話連絡に加え、毎月の手紙に写真を添え利用者様の様子をお伝えする事が出来ました。 ・利用者様個々に合った設えの工夫に努めました。 ・イベント食、ユニット食、選択メニュー、手作りおやつを実施しました。レク活動については、ユニット内で時間を見付けながら外気浴や風船バレー等を実施出来ました。 ・外部研修会への参加については、感染症対策によりハイブリッド開催（集合＋オンライン）が多くなり、研修や会議のオンライン化が定着しました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、施設での諸行事は中止や縮小にてユニットで行う形に変更しました。 ・地域の方に参加や応援等をお願いしていた行事は、コロナ禍の影響で実施出来ませんでした。（納涼祭、夜間避難訓練等）

	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する情報を把握し、食事の様子を確認しながら必要に応じた対応が行えました。 ・市内県内のコロナ感染状況に応じて、面会の方法を衝立越しでの対面・ガラス越し・オンラインで適宜実施しました。 ・施設内感染時の経験を踏まえ、新たに仕切戸の追加設置を行い、感染対策と生活環境改善を行いました。 ・福祉機器管理委員会が中心となり、福祉機器の維持管理を行いました。 ・施設の不良個所の洗い出しを行い、適切な整備を行いました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の貸出や介護教室の開催が出来る体制作りは出来ているが、実績はありません。福祉避難所としての提供実績もありません。 ・コロナ禍により、積極的なボランティアの活動支援は出来ませんでした。 ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用を行いました。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・関係スタッフが必要に応じてご家族に、日々の様子や状態変化時の報告等、こまめに連絡を取り信頼関係の構築に努めました。 ・広報誌「しいのき」の発行と、法人ホームページの施設別ブログにより情報の発信を行いました。 ・苦情の有無について、ホームページと広報誌を通じて公表しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「法人理念」「法人基本方針」の周知について、各部署へ掲示し、各会議及び朝礼前に一斉唱和を行いました。 ・マニュアル等の整備について、見直しが不十分であり引き続き行っています。 ・効率的な業務を行うために、業務改革委員会等でその都度協議し改善を行いました。しかし、全体的な改善は不十分であり、今後もムリ・ムダ・ムラをなくすために見直しを行っていきます。
	人材の確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについて、申し出はあったもののコロナ禍の影響で実施は出来ませんでした。 ・福祉への理解を深めるために開催している「出前講座」「福祉教室」について、コロナ禍により開催出来ませんでした。 ・令和2年度の介護技能実習1期生2名の受入れに続き、令和4年度7月に3期生2名の受入れを行いました。技能面および生活面において指導を行いました。
	人材の定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員については、エルダー制度の中で担当職員と共に段階的に技能を習得しました。介護技能実習生については、各ユニットに1名ずつを配置し限られた部署や職員に負担がかかる事の無いよう、引き続き職員皆で支援を行うよう努めました。 ・市内で働く外国人労働者との交流を目的に、西予市役所経済振興課国際交流係が開催する「西予市日本語勉強会」に、本年度採用の介護技能実習生が参加しました。 ・ストレスチェックを実施し、職員のメンタル面の把握に努めました。 ・職員間の交流は、コロナ禍の影響で殆ど出来ませんでした。

	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員として重要なスキルである介護技術の習得について、高齢者福祉部会で行う介護伝達講習会で受講した職員が、施設内で行うマイスター勉強会において、新人職員等に教える流れが来ています。また、自主的に勉強会を開く事もあり、スキルに不安を抱えている職員が任意で参加しました。 ・エルダー制度を通じて、新任職員の育成、先輩職員の成長、チームの成長を促すことが出来ました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修会等において、コンプライアンス研修を行い職員への周知を図りました。 ・規程規則の変更の際には、変更点を出来るだけ分かりやすく開示し周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月主要コストや稼働率等を確認し、コスト削減意識の向上に努めました。 ・介護保険における取得中の加算について、制度の理解を深めながら取得の可否を判断する事が出来ました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その他 (技能実習生、コロナ関係)
4月	辞令交付式 (ハイブリッド開催) 第1回家族会役員会 (中止)	新人新任職員園内研修 身体拘束、危険予知、 事故防止、個人情報保 護研修 (内部)	・施設内の指定された場所で「衝立越し」での面会可。状況に応じて、「ガラス越しでの面会」を行う場合あり。
5月	開園記念日 家族会総会 (書面決議) 西予市老協合同遠足 (中止) 健康診断 (入所者、職員) 第1回入所検討委員会 火災通報・避難訓練	R4 新人職員研修 県老協総会・施設長 研修会 (ハイブリッ ド) 看取り研修 (内部)	
6月		R4 新人職員研修 調理機器研修 (松山 市) 経口維持加算、口腔ケ ア研修 (内部)	介護技能実習生3期生2名入国
7月		愛媛県ノーリフティン グ研修 (Web) 県老協コロナ禍にお けるサービス提供研修 (Web) 心肺蘇生、AED講習会 (内部)	介護技能実習生3期生2名施設受入 新型コロナウイルス感染者発生 (入所者1名) ・指定された場所で「ガラス越 し」での面会可。(12日～)
8月	夏休みチャレンジボラン ティア (途中中止) 園内納涼祭 (中止) 第2回入所検討委員会	県老協老人福祉施設 大会 (Web) ハラスメント研修 (内 部)	新型コロナウイルス感染者発生 (入所者1名)

月	行 事	研修 (O J T)	その他 (技能実習生、コロナ関係)
9月	西予市老施協合同演芸大会 (中止)	県老施協認知症の対応 研修 (Web) 四国老人福祉施設関係 者研究大会 (Web) 褥瘡予防研修 (内部)	・市外在住の方：指定された場所 で「ガラス越し」での面会可。市 内在住の方：屋内の決められた場 所での面会 (接触はしない)。 (30日～)
10月	西予市老施協利用者交流会 (オンライン) 職員奉仕活動	介護外国人材セミナー (Web) 県老施協介護予防・重 度化防止研修会 (Web) 野村分会人権・同和指 導者研修会 県災害時要配慮者支援 チーム員養成基礎研修 会 (Web) サービスの効率化を目 指す研修 (内部)	県原子力防災訓練 (皆楽園の避難 先として参加) 西予市日本語勉強会 ・屋内の決められた場所での面会 (人数、時間等を確認。接触はし ない) (30日～)
11月	亥の子来園 芋炊き会 インフルエンザ予防接種 (入所者、職員) 夜間想定避難訓練 夜勤者健診 第3回入所検討委員会	西予市人権のつどい野 村会場 西予市社会福祉大会 事故防止、身体拘束、 虐待防止研修 (内部)	西予市日本語勉強会 技能実習責任者講習 技能実習指導員講習
12月	家族会役員会 シェイクアウト愛媛 家族会奉仕活動 (中止)	認知症高齢者の虐待防 止 (Web) 感染症予防研修 (新型 コロナ) (内部)	西予市日本語勉強会 新型コロナウイルス感染者発生 (入所者29名 12/8～1/22) ・ガラス越しの面会 (人数、時間 等を確認。接触はしない) (16日～)
1月	お歳取り	感染症予防研修 (イン フルエンザ) (内部)	
2月	節分 第4回入所検討委員会	県・南予共催防災に関 する研究・研修会 (三 間町) 県老施協総会・施設長 研修会 (松山市) 新型コロナ施設内感染 対策について (内部)	介護技能実習生管理団体監査
3月	退職、異動者お別れ会		・施設内の指定された場所で「衝 立越し」での面会可。(13日～)
毎月	運営委員会、リーダー会議(サービス向上)、業務改革、リスク会議(褥瘡対策、危機管理・事故防止、身体拘束対策適正化、虐待対策、食事)、ユニット会議、専門委員会(企画、編集、入浴、介護マイスター)、安全点検、内科回診、ユニット炊飯、選択メニュー、季節の行事食、散髪、介護技術伝達講習会		

定期	職員会、リーダー会議(感染症対策、食中毒対策、医療行為対策、安全衛生推進)、リスク会議(防災対策)、排泄、内部研修、エルダー、入所検討、カンファレンス、内部研修会、避難訓練、健康診断、協会専門委員会、法人研修会、入所検討委員会
随時	相談・苦情対策委員会、里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、喫茶しいのき、クラブ・サークル活動、介護人材受入施設連絡会
毎日	朝礼、ミーティング

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,436	95.7%	97.0%
5	1,550	1,520	98.1%	98.5%
6	1,500	1,462	97.5%	99.4%
7	1,550	1,449	93.5%	95.7%
8	1,550	1,385	89.4%	94.5%
9	1,500	1,381	92.1%	94.4%
10	1,550	1,518	97.9%	98.4%
11	1,500	1,441	96.1%	98.4%
12	1,550	1,441	93.0%	96.5%
1	1,550	1,326	85.5%	93.0%
2	1,400	1,329	94.9%	93.6%
3	1,550	1,477	95.3%	95.7%
合計	18,250	17,165	94.1%	96.3%

入所者要介護度別

(R5年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	5	16	28

平均介護度

4.5

男性13名

女性36名

平均年齢

86.1歳

6. 短期入所生活介護事業所しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活の維持に主眼を置き、利用者およびその家族の声を聞きながら、自宅での生活環境を把握した上で、安全に楽しく気持ちよく利用していただけるよう担当者会での聞き取りや本人、家族、居宅ケアマネとの連携にて個別ケアの充実を図りました。自宅に近い居室レイアウトを目指して生活しやすい場所の提供で安全に過ごして頂きました。 ・「虐待防止チェックリスト」を実施し、自分自身の行動を振り返ることが出来ました。また、定期委員会を含め見えてきた課題を検討し虐待防止に努めました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に受審した第三者評価の結果を踏まえた検証と改善については、十分に出来ておらず引き続きの取組みが必要です。 ・「顧客満足度調査」を実施し、アンケート結果や意見をもとに解決に努めました。 ・4年度は、新型コロナウイルス感染が3回もあり短期利用が営業中止となりました。開始後もコロナ感染対策を行い家族、居宅への説明と理解を得ながら持ち込まないよう対応を行いました。（入所前聞き取りと1、2月は利用者全員、入所時に抗原検査実施） ・家族との関りの中で意見や意向を聞きながら、可能な対応を行いました。 ・外部研修会への参加については、感染症対策によりハイブリッド開催（集合+オンライン）が多くなり、研修や会議のオンライン化が定着しました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、施設での諸行事は中止や縮小にてユニットで行う形に変更しました。 ・地域の方に参加や応援等をお願いしていた行事は、コロナ禍の影響で実施出来ませんでした。（納涼祭、夜間避難訓練等）
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に食に関する情報を把握し、利用期間中にも食事の様子を確認しながら必要に応じた対応が行えました。 ・市内県内のコロナ感染状況に応じて、面会の方法を衝立越しでの対面・ガラス越し・オンラインで適宜実施しました。 ・施設内感染時の経験を踏まえ、新たに仕切戸の追加設置を行い、感染対策と生活環境改善を行いました。 ・福祉機器管理委員会が中心となり、福祉機器の維持管理を行いました。 ・施設の不良個所の洗い出しを行い、適切な整備を行いました。

社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の貸出や介護教室の開催が出来る体制作りは出来ているが、実績はありません。福祉避難所としての提供実績もありません。 ・コロナ禍により、積極的なボランティアの活動支援は出来ませんでした。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・関係スタッフが必要に応じて家族に、日々の様子や状態変化時の報告等、こまめに連絡を取り信頼関係の構築に努めました。 ・苦情の有無について、ホームページと広報誌を通じて公表しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「法人理念」「法人基本方針」の周知について、各部署へ掲示し、各会議及び朝礼前に一斉唱和を行いました。 ・マニュアル等の整備について、見直しที่ไม่十分であり引き続き行っています。 ・効率的な業務を行うために、業務改革委員会等でその都度協議し改善を行いました。しかし、全体的な改善は不十分であり、今後もムリ・ムダ・ムラをなくすために見直しを行っていきます。
	人材の確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについて、申し出はあったもののコロナ禍の影響で実施は出来ませんでした。 ・福祉への理解を深めるために開催している「出前講座」「福祉教室」について、コロナ禍により開催出来ませんでした。 ・令和2年度の介護技能実習1期生2名の受入れに続き、令和4年度7月に3期生2名の受入れを行いました。技能面および生活面において指導を行いました。
	人材の定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員については、エルダー制度の中で担当職員と共に段階的に技能を習得しました。介護技能実習生については、各ユニットに1名ずつを配置し限られた部署や職員に負担がかかる事の無いよう、引き続き職員皆で支援を行うよう努めました。 ・市内で働く外国人労働者との交流を目的に、西予市役所経済振興課国際交流係が開催する「西予市日本語勉強会」に、本年度採用の介護技能実習生が参加しました。 ・ストレスチェックを実施し、職員のメンタル面の把握に努めました。 ・職員間の交流は、コロナ禍の影響で殆ど出来ませんでした。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員として重要なスキルである介護技術の習得について、高齢者福祉部会で行う介護伝達講習会で受講した職員が、施設内で行うマイスター勉強会において、新人職員等に教える流れが出来ています。また、自主的に勉強会を開く事もあり、スキルに不安を抱えている職員が任意で参加しました。 ・エルダー制度を通じて、新任職員の育成、先輩職員の成長、チームの成長を促すことが出来ました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修会等において、コンプライアンス研修を行い職員への周知を図りました。 ・規程規則の変更の際には、変更点を出来るだけ分かりやすく開示し周知を図りました。
マネジメントに対する基本姿勢	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月主要コストや稼働率等を確認し、コスト削減意識の向上に努めました。 ・介護保険における取得中の加算について、制度の理解を深めながら取得の可否を判断する事が出来ました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他 (コロナ関係)
4月	辞令交付式 (ハイブリッド開催)	新人新任職員園内研修 身体拘束、危険予知、 事故防止、個人情報保護研修 (内部)	・施設内の指定された場所で「衝立越し」での面会可。状況に応じて、「ガラス越しでの面会」を行う場合あり。
5月	開園記念日 健康診断 火災通報・避難訓練	R4 新人職員研修 県老協総会・施設長 研修会 (ハイブリッド) 看取り研修 (内部)	
6月		R4 新人職員研修 調理機器研修 (松山市) 経口維持加算、口腔ケア研修 (内部)	介護技能実習生3期生2名入国
7月		愛媛県ノーリフティング研修 (Web) 県老協コロナ禍におけるサービス提供研修 (Web) 心肺蘇生、AED講習会 (内部)	介護技能実習生3期生2名施設受入 新型コロナウイルス感染者発生 (入所者1名) ・指定された場所で「ガラス越し」での面会可。(12日～)
8月	夏休みチャレンジボランティア (途中中止) 園内納涼祭 (中止)	県老協老人福祉施設大会 (Web) ハラスメント研修 (内部)	新型コロナウイルス感染者発生 (入所者1名)
9月		県老協認知症の対応研修 (Web) 四国老人福祉施設関係者研究大会 (Web) 褥瘡予防研修 (内部)	・市外在住の方：指定された場所で「ガラス越し」での面会可。市内在住の方：屋内の決められた場所での面会 (接触はしない)。(30日～)
10月	職員奉仕活動	介護外国人材セミナー (Web) 県老協介護予防・重度化防止研修会 (Web) 野村分会人権・同和指導者研修会 県災害時要配慮者支援チーム員養成基礎研修会 (Web) サービスの効率化を目指す研修 (内部)	県原子力防災訓練 (皆楽園の避難先として参加) 西予市日本語勉強会 ・屋内の決められた場所での面会 (人数、時間等を確認。接触はしない) (30日～)

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他 (コロナ関係)
11月	亥の子来園 芋炊き会 夜間想定避難訓練 夜勤者健診	西予市人権のつどい野 村会場 西予市社会福祉大会 事故防止、身体拘束、 虐待防止研修 (内部)	西予市日本語勉強会 技能実習責任者講習 技能実習指導員講習
12月	シェイクアウト愛媛	認知症高齢者の虐待防 止 (Web) 感染症予防研修 (新型 コロナ) (内部)	西予市日本語勉強会 新型コロナウイルス感染者発生 (入所者29名 12/8~1/22) ・ガラス越しの面会 (人数、時間 等を確認。接触はしない) (16日~)
1月	お歳取り	感染症予防研修 (イン フルエンザ) (内部)	
2月	節分	県・南予共催防災に関 する研究・研修会 (三 間町) 県老協総会・施設長 研修会 (松山市) 新型コロナ施設内感染 対策について (内部)	介護技能実習生管理団体監査
3月	退職、異動者お別れ会		・施設内の指定された場所で「衝 立越し」での面会可。(13日~)
毎月	運営委員会、リーダー会議(サービス向上)、業務改革、リスク会議(褥瘡対策、危機管理・事故防止、身体拘束対策適正化、虐待対策、食事)、ユニット会議、専門委員会(企画、編集、入浴、介護マイスター)、安全点検、内科回診、ユニット炊飯、選択メニュー、季節の行事食、散髪、介護技術伝達講習会		
定期	職員会、リーダー会議(感染症対策、食中毒対策、医療行為対策、安全衛生推進)、リスク会議(防災対策)、排泄、内部研修、エルダー、入所検討、カンファレンス、内部研修会、避難訓練、健康診断、協会専門委員会、法人研修会、入所検討委員会		
随時	相談・苦情対策委員会、里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、喫茶しいのき、クラブ・サークル活動、介護人材受入施設連絡会		
毎日	朝礼、ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	235	78.3%	92.3%
5	310	238	76.8%	90.3%
6	300	257	85.7%	88.0%
7	310	214	69.0%	79.7%
8	310	130	41.9%	81.3%
9	300	243	81.0%	81.0%
10	310	245	79.0%	84.8%
11	300	266	88.7%	90.7%
12	310	105	33.9%	84.5%
1	310	21	6.8%	76.8%
2	280	204	72.9%	76.8%
3	310	230	74.2%	74.5%
合計	3,650	2,388	65.4%	83.4%

利用定員 10名

平均介護度 2

7. 特別養護老人ホーム寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施。各自がグレーゾーンについての認識を共有し、その結果については、虐待対策委員会にて検証を行いました。 ・ご本人やご家族から聞き取りを行い、好みや生活歴を把握し、フェイスシートに記入、個別の支援に役立てました。 ・定期的なカンファレンス時には、ご本人、ご家族に意向の確認を行いました。知人のお墓参り、里帰り等の希望を叶えることが出来ました。意向の確認が困難な入所者については、家族から聞き取った事を気分転換に繋げていきました。(花壇の花や野菜畑を見に行くなど) ・新型コロナクラスターが発生した際には、入所者は不自由な生活を余儀なくされました。状態を観察しながら、ひとりひとり寄り添う対応に努めました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査を実施し、入所者やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。また、調査結果については、ホームページでの公表を行いました。 ・嗜好調査を年2回、4月、10月に実施出来ました。 ・ネット環境を整え、様々なオンライン研修に多数の職員が参加出来ました。 ・介護福祉士、防災士各1名ずつが資格取得出来ました。その他、喀痰吸引等研修に1名参加しました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、各地域での行事は中止となり、参加は出来ませんでした。地区の奉仕作業には4名参加しました。また、11月には魚成公民館で奉仕作業を行いました。 ・郷土巡りとして龍澤寺、観音水、中筋大門松を見に行きました。 ・夏休みチャレンジボランティアの受入れ、ボランティアつづじ会の訪問がありました。 ・城川、魚成地区での防災活動は実施されませんでした。県が実施するシェイクアウト訓練には参加しました。支援物資搬送は行わず、伝達訓練のみを行いました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施している福祉機器の点検結果を踏まえ、修理もしくは買い替え等の必要性の確認が出来ました。 ・車椅子体重計、リクライニング車椅子(1)、赤外線センサー(3)、ベッドリモコンの購入を計画的に行いました。 ・厨房器具の定期点検を実施し、大型厨房機器の不良の早期発見に努めました。将来的な調理システムや施設の経年を考慮し、ブラストチラーの購入には至りませんでした。

社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の対象入所者はなかった。 ・新規利用者の方には、負担限度額申請の報告、書類作成援助を行いました。 ・福祉避難所の役割を担うため、毎月、防災倉庫の点検を実施しました。
社会に対する基本姿勢	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「ひだまり」年3回発行する事が出来ました。 ・新型コロナの影響で、ご家族との面会も十分に出来ない状況が続いており、ブログの投稿回数を増やし、月に1回はご家族にお便りを送付する等、日頃の様子を伝えられるよう取り組みました。（月平均約7回ブログ投稿） ・苦情の有無に関わらず、ブログと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。11月には満足度調査の集計結果をホームページに公表しました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、各委員会にて唱和を行いました。 ・また月に1回、業務改革委員会を開催し、業務内容を検討し、業務の効率化を図りました。今後も継続的に整備を行います。 ・昨年度に介護ロボット導入支援事業補助金で購入した眠りSCANを活用し、利用者様の状態把握に努めました。また各棟で入所者のマスターカードを作成し、統一したケアが出来るよう努めました。
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みチャレンジボランティアは4名参加していただきました。高齢者体験等実施し、介護の仕事への理解を深めていただきました。 ・7月に技能実習生が2名入職、現場での技能教育、地域生活における生活指導、日本語のスキルアップ教育など行っています。
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を活用、今年度もすり合わせの時間を設け、新人とエルダーとともに確認作業が出来ました。看護師等専門職からの指導あり、細やかな説明を受けることが出来ました。 ・成長支援制度において、チーム目標を掲げ、各チームの各々が役割を実施し、目標達成に繋げることができました。 ・毎月の安全点検日に危険個所の洗い出しを行い、労働環境の整備に努めました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・県老協主催の研修、県老人福祉施設大会・四国老人福祉施設研究大会、認知症介護基礎研修、安全対策担当者養成研修等をオンラインで受講することが出来ました。その他、良い内容の研修を選び、受講してもらいました。 ・成長支援制度のスキルチェックの実施により自己の振り返りが出来、課題を評価者と一緒に確認しました。 ・介護福祉士、防災士、喀痰吸引等の資格取得の支援を行いました。介護福祉士の取得割合は86%になりました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報取り扱いへの配慮に努めました。 ・新人教育、職員会、内部研修において、法令遵守に関する研修を行い、意識の徹底を図りました。 ・各委員会でマニュアルの見直しを行い、内容についても認識してもらうよう努めています。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月主要コストの検証を行いました。定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図りました。燃料費、電気料、介護用品、消耗品等は全国的な値上げにより、かなりのコスト上昇となりました。1/12～1ヶ月間新型コロナウイルスが発生し、感染対策の消耗品を多数購入しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4 月		新任職員研修：5名 医療行為に関する研修(吸引、経管栄養、酸素等)：11名	介護支援専門員研修(1名)
5 月	家族会総会(書面にて) 新緑の集い 利用者外出(日吉方面2名) 里帰り(町内1名)	感染症・食中毒予防、虐待防止 身体拘束排除研修(資料配布)	「ひだまり」37号発行 今田地区道作り参加：4名 健康診断(入所者、職員)
6 月	梅狩り 避難訓練(火災想定・通報訓練) 利用者外出(町内2件/7名) 苑内ホーム喫茶	技能実習生受入れに関する研修 ：20名 事故防止対策研修：24名	技能実習生入国 第1回入所検討委員会 ショート出入り口軒設置工事 火災通報装置一式取替え リクライニング車椅子購入
7 月	利用者外出(町内、宇和5件/11名) 技能実習生ウエルカムイベント そうめん流し	排泄ケア研修：16名 メンタルヘルス研修：21名 講師：幸田先生(オンライン)	技能実習生入職 参議院選挙期日前投票 パソコン2台購入 車椅子スケール購入 しいのき園応援職員1名派遣 夏休みチャレンジボランティア4名
8 月	夏祭り(感染対策により 中止) 利用者外出(肱川町2名) 火災避難訓練	ハラスメント研修：9名 看取りに関する研修：20名	利用者、職員新型コロナ ワクチン接種(4回目) しいのき園応援職員1名派遣
9 月	苑内敬老会(白寿3名、米 寿2名)	褥瘡に関する研修会(外部講師) ：21名	第2回入所検討委員会
10 月	苑内ホーム喫茶 夜間想定避難訓練、通報訓練 利用者外出(鬼北町2名)	ポジショニング研修(外部講師) ：22名	西予市老施協交流会 職員新型コロナワクチン接種 (4回目) エアマット1台購入 ボランティアつづじ会来苑
11 月	利用者外出(町内2件/4名) 里帰り(野村町1名) 寿楽苑オリンピック 乙亥祭りパブリックビューイング	感染症・食中毒予防研修：12名	「ひだまり」38号発行 インフルエンザ予防接種 (利用者、職員) 奉仕作業(魚成改善センター) 夜勤者健診
12 月	苑内忘年会 餅つき ケーキ作り、クリスマス会	事故防止対策研修(資料配布、 動画視聴)	第3回入所検討委員会 シェイクアウトえひめ
1 月	苑内新年会 初詣外出(野村町中筋6名)		「ひだまり」39号発行 介護福祉士受験(1名) しいのき園応援職員2名派遣 1/12～新型コロナウイルス クラスター発生 しいのき園2名、奥伊予荘 1名職員応援あり

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
2月		虐待防止・身体拘束排除：15名	～2/11新型コロナウイルス クラスター収束
3月	地震・土砂災害想定訓練 防犯訓練（動画視聴） お花見会 里帰り（町内1名）	今年度まとめ各部署より報告 成長支援制度振り返り：13名 AED研修	第4回入所検討委員会 技能実習生評価試験
毎月	運営委員会・B棟会・C棟会・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡予防、感染症予防 事故防止対策、身体拘束廃止、虐待防止対策、防災対策、サービス向上、衛生管理 食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修）、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	入所検討委員会（3ヶ月毎）・カンファレンス・エルダー委員会 内科回診（月・木）・環境整備（3ヶ月毎）・消火訓練（3ヶ月毎）		
随時	避難訓練・防犯訓練・外出・ふるさと訪問・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,432	95.5%	98.1%
5	1,550	1,470	94.8%	95.7%
6	1,500	1,481	98.7%	98.7%
7	1,550	1,520	98.1%	98.3%
8	1,550	1,494	96.4%	97.2%
9	1,500	1,440	96.0%	95.3%
10	1,550	1,488	96.0%	94.8%
11	1,500	1,450	96.7%	97.2%
12	1,550	1,410	91.0%	98.5%
1	1,550	1,396	90.1%	97.9%
2	1,400	1,157	82.6%	95.6%
3	1,550	1,372	88.5%	98.1%
合計	18,250	17,110	93.8%	97.1%

利用者要介護度別

(令和5年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	1	8	19	17

平均介護度 4.15
 平均年齢 87.5歳
 男性 12名 女性 33名

8. 短期入所生活介護事業所寿楽苑

(1) 行動指針

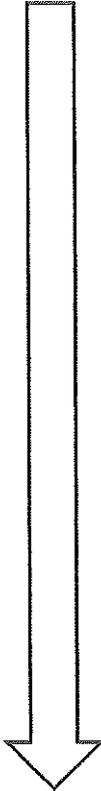
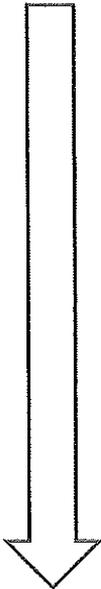
『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和4年度取組報告
利用者家族 に対する基本 姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・個別ファイルにアセスメントシートを保存し、利用時にはいつでも確認出来るようにしました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・居宅ケアマネから提供されるケアプランに沿って、介護および看護が連携し利用者様の心身機能の維持に努めました。 ・利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向および利用者様の負担を考慮しながら居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減に努めました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様にコロナウイルス感染予防対策に伴い、ボランティアの方等との交流が出来ませんでした。
	生活環境・利用者 環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・利用時は、在宅での生活環境に近付けた居室環境作りを行い、安心して安全に生活して頂けるよう努めました。 ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、居宅ケアマネとの連携を図り、利用前には聴き取りを十分に行い、健康状態を確認し、感染対策を行った上で、利用していただきました。 ・荷物チェックアプリの使用により、効率化が図られ、忘れ物も少なくなっています。
社会に対す る基本姿勢	地域における公益 的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・特に独居や高齢者世帯の利用者様においては、現状を把握し、在宅生活が円滑に継続できるように、関係機関と連絡を密に取り合いました。
	信頼と協力を得る ための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・利用者様の状態に少しでも変化があれば、その都度、ご家族、担当ケアマネに連絡し、早期発見、治療に繋げています。
福祉人材に 対する基本 姿勢	人材のマネジメン トの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	人材の確保に向け た取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	人材の定着に向け た取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
マネジメン トに対する 基本姿勢	コンプライアンス の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	健全な財務規律の 確立	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・1/12～特養にて新型コロナクラスターが発生し、約1ヶ月間受け入れ中止となり、稼働率も低下しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月		職員対象の研修等は、特養と同様の内容にて実施 	特養と同様 
5月	新緑の集い		
6月	梅狩り		
	避難訓練(火災想定・通報訓練) ホーム喫茶		
7月	技能実習生ウエルカムイベント		
	そうめん流し		
8月	寿楽苑夏祭り中止		
	火災避難訓練		
9月	苑内敬老会		
10月	ホーム喫茶、夜間想定避難訓練		
11月	寿楽苑オリンピック		
12月	苑内忘年会、餅つき		
	ケーキ作り、クリスマス会		
1月	苑内新年会		
2月			
3月	お花見会		
	地震・土砂災害想定訓練 防犯訓練 (動画視聴)		
毎月	運営委員会・B棟会・C棟会・誕生会・各専門委員会 (給食、褥瘡予防、感染症予防 事故防止対策、身体拘束廃止、虐待防止対策、防災対策、サービス向上、衛生管理 食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修)、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	エルダー委員会 環境整備 (3ヶ月毎)・消火訓練(3ヶ月毎)		
随時	避難訓練・防犯訓練・内部研修会・法人研修会 職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	265	88.3%	60.7%
5	310	259	83.5%	66.1%
6	300	230	76.7%	88.0%
7	310	233	75.2%	88.1%
8	310	240	77.4%	83.2%
9	300	233	77.7%	91.0%
10	310	245	79.0%	89.4%
11	300	257	85.7%	96.7%
12	310	223	71.9%	88.7%
1	310	105	33.9%	94.2%
2	280	99	35.4%	94.3%
3	310	234	75.5%	86.5%
合計	3,650	2,623	71.9%	85.5%

利用定員 10名
平均介護度 2.8 (令和5年3月末現在)

9. デイサービスセンター寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施、各自がグリーゾーンについての認識を共有し、その結果については虐待対策委員会、デイ職員会にて検証を行いました。 ・担当者会議等で、利用者様、ご家族の意向を聴き取りし、計画書に反映し、サービス提供に取り入れるよう努めました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査を実施し、利用者様やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。食事についても同様に、意向や好みを確認し、各利用者様に応じた食事の提供をしております。 ・家族との連携を図り、ニーズの把握に努め、利用者様の個別対応や過ごし方の充実について、適宜職員間で協議し改善に向けた検討を行いました。 ・県老協主催の研修、県老人福祉研究大会、四国老人福祉施設研究大会等、デイサービスに特化した内容のものをオンラインで受講することが出来ました。ミュージックケア研修にも参加し、職員個々のスキルアップに繋がりました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、各地域での行事は中止となりました。11月には魚成公民館で奉仕作業を行いました。 ・感染症対策により、遠出はせず、地元で景色の良い場所を見つけ、外出し気分転換を図りました。 ・城川、魚成地区での防災活動は実施されませんでした。県が実施するシェイクアウト訓練には参加しました。支援物資搬送は行わず、伝達訓練のみを行いました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で延期となっていたトイレ改修が2年越しに実現しました。快適に使用できると利用者様からも好評を得ています。納品が遅れていた給湯器も4月には取替えでき、円滑に入浴ができるようになりました。 ・車輛、福祉用具の不具合も早期に整備を行いました。 ・自宅での生活状況を調査し、利用者様の身体状況に合わせた機能訓練を実施、適宜ご家族にその様子等を報告することで、在宅での生活機能の維持向上に役立ててもらう事ができました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用。(12月から対象者1名) ・入浴サービス利用実績(8回/年) ・お試しデイサービス利用実績(6名/年)

社会に対する基本姿勢	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回発行予定であった広報誌「デイサービスセンター寿楽苑通信」は新型コロナクラスターの関係で2回発行となりましたが、利用時の様子を発信する事が出来ました。 ・苦情受付の実績はありませんでした。公表については、毎月ブログで行いました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、各委員会にて唱和を行いました。 ・大きな業務見直しには至っていないが、適宜、話し合いを行い業務改善を行いました。責任の明確化、役割分担が上手く出来ませんでした。
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みチャレンジボランティアは4名参加していただきました。利用者との直接的な関わりは控えましたが、高齢者体験等実施し、介護の仕事への理解を深めていただきました。 ・7月に技能実習生2名入職しました。デイサービスでのウェルカムイベントで自己紹介等を行い、交流を図りました。温かく迎えていただきました。
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・成長支援制度において、チーム目標を掲げ、各々が役割を実施し、目標達成に繋げることができました。 ・月1回の安全点検日に福祉用具や車輛について、点検を行い、不具合を確認したら、速やかな解消に務めました。特養と合同の委員会に参加し、職場環境の改善を図りました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの研修会に適宜参加しました。(認知症介護基礎研修、安全対策担当者養成研修等) ・資格取得の受験者はありませんでした。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いへの配慮に努めました。 ・新人教育、職員会、内部研修において、法令遵守に関する研修を行い、意識の徹底を図りました。 ・各委員会でマニュアルの見直しを行い、内容についても認識してもらうよう努めています。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・1/12～特養にて新型コロナクラスターが発生し、BCP計画に基づき、デイの営業を中止し、職員は特養の感染対策の応援をしてもらいました。約1ヶ月間受け入れ中止となり、稼働率の低下を招きました。 ・毎月主要コストの検証を行いました。定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図りました。燃料費、電気料、介護用品、消耗品等は全国的な値上げにより、かなりのコスト上昇となりました。 ・新規加算取得に向けて検討はしましたが、取得可能な加算はありませんでした。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	桜とともに記念撮影	医療行為に関する研修(吸引、経管栄養、酸素等) : 7名	
5月	れきハコ貸出利用、昔の暮らしパックレンタルにて回想療法	感染症・食中毒予防、虐待防止 身体拘束排除研修(資料配布)	広報誌(春号)発行 健康診断 トイレ改修工事
6月	ドライブ(遊子川方面) おやつ作り(わらび餅) 避難訓練(火災想定・通報)	技能実習生受入れに関する研修 : 4名 事故防止対策研修 : 8名	

月	行 事	研修 (O J T)	その他
7月	ミュージックケア 技能実習生ウエルカムイベント	メンタルヘルス研修：4名 講師：幸田先生（オンライン）	夏休みチャレンジボランティア4名
8月	おやつ作り（かき氷）	排泄ケア研修：7名 ハラスメント研修：1名 看取りに関する研修（資料配布）	新型コロナワクチン接種 利用者1名新型コロナ陽性 判明（2日間営業中止）
9月	敬老会	褥瘡に関する研修会（外部講師） ：5名	台風のため臨時休業
10月	夜間想定避難訓練、通報訓練 運動会、ドライブ（魚成コス モスロード）	ポジショニング研修（外部講師） ：6名	広報誌（秋号）発行 新型コロナワクチン接種
11月	ドライブ（三滝） おやつ作り（芋餅）	感染症・食中毒予防研修：6名	インフルエンザ予防接種 奉仕作業（魚成改善センター） 夜勤者健診
12月	クリスマス会	事故防止対策研修（資料配布、 動画視聴）	シェイクアウトえひめ 積雪のため臨時休業
1月			しいのき園応援職員1名派遣 利用者1名新型コロナ陽性 判明 1/10～BCP計画に基づく応援等 により営業中止
2月		虐待防止・身体拘束排除（資料 配付、動画視聴）	2/13～営業再開
3月	おやつ作り（雛あられ） ドライブ（愛宕山公園） 地震・土砂災害想定訓練 防犯訓練（動画視聴）	今年度まとめ各部署より報告 成長支援制度振り返り：5名 AED研修	
毎月	運営委員会・デイ職員会・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡予防、感染症予防 事故防止対策、身体拘束廃止、虐待防止対策、防災対策、サービス向上、衛生管理 食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修） 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	環境整備（3ヶ月毎）・エルダー委員会		
随時	避難訓練・外出・内部研修会・法人研修会・合同職員会・相談苦情対策委員会・食中毒 対策緊急会議		
毎日	朝礼・終礼		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	650	505	77.7%	44.3%
5	650	455	70.0%	60.6%
6	650	472	72.6%	65.1%
7	650	455	70.0%	71.0%
8	675	397	58.8%	68.3%
9	650	428	65.8%	72.5%
10	650	462	71.1%	73.5%
11	650	479	73.7%	69.1%
12	650	369	56.8%	74.5%
1	625	61	9.8%	63.7%
2	600	238	39.7%	70.5%
3	675	481	71.3%	76.9%
合計	7,775	4,802	61.8%	67.5%

(利用定員) 25名
 (1日平均利用) 15.4人
 (営業日) 月曜日から土曜日の週6日
 (介護度状況)

(令和5年3月末現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
3	5	14	21	27	9	10	1

平均介護度 2.2 (要支援・第1号対象者を除く)

10. 養護老人ホーム 奥伊予荘

(1) 行動指針

『笑顔で よりそい ささえあう』

- ア 入所者の意思及び人格を尊重します。
- イ 家族との結びつきを大切にします。
- ウ 職員は知識及び技術の向上に努めます。
- エ 地域貢献に努めます。
- オ 信頼される施設を目指します。

(2) 事業報告

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	令和4年度の強化目標として「人権の尊重」を施設として取り組み、その徹底を図り実践しました。集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 支援計画の作成時にお一人お一人の思いや希望を確認し、自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	コロナ禍で十分な行事、イベント、外出等はできませんでしたが、その中でも実施方法を工夫し、ユニット単位での実施や、各ユニットごとの毎月のおやつ作り、利用者の希望を取り入れ個別外出を実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 職員の研鑽のための施設内研修は、感染症対策、事故防止、危機管理、虐待身体拘束等について実施しました。Zoomを使っての研修実施や外部講師を招いての研修会はコロナが落ち着いた時期に消防署指導による救命救急を行いました。
	地域との関係の継続	去年は実施できなかった城川小との交流会はコロナ対策を実施したうえで規模を縮小し実施できました。認定こども園しろかわ保育所との芋ほり交流会も同様の対策をしたうえで実施できました。 城川地域の座談会の参加し地域の方々との意見交換を行いました。コロナ対策で老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加は中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	環境の向上のためテーブルや車椅子、フルリクライニング車椅子、3モーター超低床ベッドの備品を整備しました。 新型コロナウイルス感染症対策BCPの見直しを実施しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組の推進	市内での虐待事例に対して対応し緊急避難として受け入れを行いました。福祉避難所の見直し充実を図りました。災害発生時の対策で倉庫の確保を行いました。近隣地域との災害協定の締結し施設の避難訓練への協力を依頼しました。 奥伊予のつどい(年6回開催)はコロナ禍で実施できませんでした。
	信頼と協力を得るための情報発信	年3回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	地元出身の1名が前年の高校での実習を経て就職され頑張っておられます。職場体験学習で1名、夏休みのボランティアで4名の児童生徒が来荘し業務の手伝いをさせていただきました。城川小学校、中学校への出前講座・交流会の実施を計画していましたが、コロナ禍により実施できませんでした。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、コロナ禍で外部研修実施は十分な実施はできませんでしたが、内部の充実に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	成長支援制度の運用にて個々の目標を設定、実践、評価、見直しを行い育成に取り組んでいる。毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や協議を実施しました。介護技術向上のための講習参加者による勉強発表会を実施し全職員が技術の向上に取り組みました。介護福祉士、介護支援専門員他、資格取得に向け取り組みました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	研修会、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。 経営の安定が図れるよう体制を整え、行政と確認、協議しながら運営しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見 五月人形 (飾り付け) お楽しみ外出・故郷訪問	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 法令遵守・個人情報 プライバシー保護 ハラスメント防止対策	福寿会役員会 (書面) 成長支援目標設定
5月	西予老施協合同遠足 (中止) 健康診断 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	食中毒・脱水症 感染症対策 事故再発防止研修 非常災害時の対応	福寿会役員会 広報誌発行①
6月	家族会 (中止) JA年金友の会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問 保育所交流・芋苗植え (交流中止)	医療に関する研修 施設設備機器扱い	家族会総会 (書面) 福寿会役員会 市合同(風水・土砂災害) 避難訓練
7月	七夕飾り そうめん流し (ユニット内) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	メンタルヘルス研修 1	福寿会役員会

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
8月	納涼祭 盆法要 (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	身体拘束・虐待防止研修 成長支援施設内実践発表	福寿会役員会
9月	敬老の式典 奥伊予のつどい (中止) 西予市老施協交流会 お楽しみ外出・故郷訪問	救命救急・AED講習	福寿会役員会 広報誌発行②
10月	地域交流大運動会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) 保育所交流・芋ほり お楽しみ外出・故郷訪問	感染症予防研修 コロナシミュレーション訓練	福寿会役員会 出前講座(城川小、城川中) (中止) 成長支援目標設定
11月	城川小学校交流会 ボランティアグループ交流 奥伊予ふるさと祭 (中止) 伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	介護技術に関する研修	(夜) 火災避難訓練 福寿会役員会 奉仕作業
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス会・忘年会 保育所交流会・餅つき (中止) お楽しみ外出・故郷訪問		(地震) 避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 (中止) 新年会 (ユニット内) お楽しみ外出・故郷訪問	事故再発防止研修 リスクマネジメント研修 認知症ケア 身体拘束・虐待防止研修 防犯訓練	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分 (ユニット内) お楽しみ外出・故郷訪問	成長支援実施結果報告会	福寿会役員会
3月	ひな祭り (飾り付け) 春彼岸法要 (中止) お楽しみ外出・故郷訪問 退職異動者お別れ会	介護技術伝達講習発表	福寿会役員会・総会 (火災) 避難訓練
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・サービス向上委員会・企画委員会 各専門委員会 (事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～3ヶ月1回研修、内部研修) 誕生会・ボウリング大会・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診 (月1回)、散髪～月3回、ユニット全体消毒～週2回以上		
随時	地域行事外出・交流会・クラブ (一部中止)・法人研修会・法人各委員会 ・部会(web他)・利用者、職員コロナウイルスワクチン接種		
毎日	ラジオ・リハビリ体操、機能訓練 (平日)		

(4) 養護老人ホーム入所者 (40人) 利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,136	94.7%	94.1%
5	1,240	1,202	96.9%	94.0%
6	1,200	1,183	98.6%	96.3%
7	1,240	1,220	98.4%	95.5%
8	1,240	1,239	99.9%	95.9%
9	1,200	1,191	99.3%	99.9%
10	1,240	1,223	98.6%	99.0%
11	1,200	1,183	98.6%	95.7%
12	1,240	1,240	100.0%	95.2%
1	1,240	1,180	95.2%	94.1%
2	1,120	1,078	96.3%	93.1%
3	1,240	1,204	97.1%	100.0%
合計	14,600	14,279	97.8%	96.1%

入所者要介護度別 (令和5年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
27	2	6	3	2	0	0	0

男性 10名 女性 30名 入所者総数 40名

平均年齢 86.9歳

措置機関別入所状況 西予市 40名

(5) 奥伊予荘全体入所者 (70人) 利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,100	2,006	95.5%	95.4%
5	2,170	2,080	95.9%	94.8%
6	2,100	2,017	96.0%	97.1%
7	2,170	2,076	95.7%	94.2%
8	2,170	2,114	97.4%	95.5%
9	2,100	2,042	97.2%	99.3%
10	2,170	2,143	98.8%	97.7%
11	2,100	2,036	97.0%	96.0%
12	2,170	2,125	97.9%	95.7%
1	2,170	2,044	94.2%	94.7%
2	1,960	1,857	94.7%	94.6%
3	2,170	2,073	95.5%	98.4%
合計	25,550	24,613	96.3%	96.1%

入所者要介護度別 (令和5年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
27	2	6	8	15	7	3	2

男性 18名 女性 52名 入所者総数 70名

平均年齢 87.5歳

措置機関別入所状況 西予市 70名

11. 特定施設入居者生活介護事業所奥伊予荘

(1) 行動指針

『笑顔で よりそい ささえあう』

- ア 入所者の意思及び人格を尊重します。
- イ 家族との結びつきを大切にします。
- ウ 職員は知識及び技術の向上に努めます。
- エ 地域貢献に努めます。
- オ 信頼される施設を目指します。

(2) 事業報告

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	令和4年度の強化目標として「人権の尊重」を施設として取り組み、その徹底を図り実践しました。集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 ケアプランの作成時にお一人お一人の思いや希望を確認し、自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	コロナ禍で十分な行事、イベント、外出等はできませんでしたが、その中でも実施方法を工夫し、ユニット単位での実施や、各ユニットごとの毎月のおやつ作り、利用者の希望を取り入れ個別外出を実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 職員の研鑽のための施設内研修は、感染症対策、事故防止、危機管理、虐待身体拘束等について実施しました。Zoomを使っての研修実施や外部講師を招いての研修会はコロナが落ち着いた時期に消防署指導による救命救急を行いました。
	地域との関係の継続	去年は実施できなかった城川小との交流会はコロナ対策を実施したうえで規模を縮小し実施できました。認定こども園しろかわ保育所との芋ほり交流会も同様の対策をしたうえで実施できました。 城川地域の座談会の参加し地域の方々との意見交換を行いました。コロナ対策で老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加は中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	環境の向上のためテーブルや車椅子、フルリクライニング車椅子、3モーター超低床ベッドの備品を整備しました。 新型コロナウイルス感染症対策BCPの見直しを実施しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組の推進	市内での虐待事例に対して対応し緊急避難として受け入れを行いました。福祉避難所の見直し充実を図りました。災害発生時の対策で倉庫の確保を行いました。近隣地域との災害協定の締結し施設の避難訓練への協力を依頼しました。 奥伊予のつどい(年6回開催)はコロナ禍で実施できませんでした。
	信頼と協力を得るための情報発信	年3回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。

区 分	重点項目	令和4年度取組報告
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	地元出身の1名が前年の高校での実習を経て就職され頑張っておられます。職場体験学習で1名、夏休みのボランティアで4名の児童生徒が来荘し業務の手伝いをさせていただきました。城川小学校、中学校への出前講座・交流会の実施を計画していましたが、コロナ禍により実施できませんでした。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、コロナ禍で外部研修実施は十分な実施はできませんでしたが、内部の充実に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	成長支援制度の運用にて個々の目標を設定、実践、評価、見直しを行い育成に取り組んでいる。毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や協議を実施しました。介護技術向上のための講習参加者による勉強発表会を実施し全職員が技術の向上に取り組みました。介護福祉士、介護支援専門員他、資格取得に向け取り組みました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	研修会、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。 経営の安定が図れるよう体制を整え夜間看護体制加算、サービス提供体制強化加算、介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算等への取り組みについて行政と確認、協議しながら運営しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4 月	お花見 五月人形 (飾り付け) お楽しみ外出・故郷訪問	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 法令遵守・個人情報 プライバシー保護 ハラスメント防止対策	福寿会役員会 (書面) 成長支援目標設定
5 月	西予老協合同遠足 (中止) 健康診断 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	食中毒・脱水症 感染症対策 事故再発防止研修 非常災害時の対応	福寿会役員会 広報誌発行①
6 月	家族会 (中止) JA年金友の会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問 保育所交流・芋苗植え (交流中止)	医療に関する研修 施設設備機器扱い	家族会総会 (書面) 福寿会役員会 市合同(風水・土砂災害) 避難訓練

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
7月	七夕飾り そうめん流し (ユニット内) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	メンタルヘルス研修 1	福寿会役員会
8月	納涼祭 盆法要 (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	身体拘束・虐待防止研修 成長支援施設内実践発表	福寿会役員会
9月	敬老の式典 奥伊予のつどい (中止) 西予市老施協交流会 お楽しみ外出・故郷訪問	救命救急・AED講習	福寿会役員会 広報誌発行②
10月	地域交流大運動会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) 保育所交流・芋ほり お楽しみ外出・故郷訪問	感染症予防研修 コロナシミュレーション訓練	福寿会役員会 出前講座 (城川小、城川中) (中止) 成長支援目標設定
11月	城川小学校交流会 ボランティアグループ交流 奥伊予ふるさと祭 (中止) 伊予のつどい (中止) お楽しみ外出・故郷訪問	介護技術に関する研修	(夜) 火災避難訓練 福寿会役員会 奉仕作業
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス会・忘年会 保育所交流会・餅つき (中止) お楽しみ外出・故郷訪問		(地震) 避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 (中止) 新年会 (ユニット内) お楽しみ外出・故郷訪問	事故再発防止研修 リスクマネジメント研修 認知症ケア 身体拘束・虐待防止研修 防犯訓練	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分 (ユニット内) お楽しみ外出・故郷訪問	成長支援実施結果報告会	福寿会役員会
3月	ひな祭り (飾り付け) 春彼岸法要 (中止) お楽しみ外出・故郷訪問 退職異動者お別れ会	介護技術伝達講習発表	福寿会役員会・総会 (火災) 避難訓練
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・サービス向上委員会・企画委員会 各専門委員会 (事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～3ヶ月1回研修、内部研修) 誕生会・ボウリング大会・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診 (月1回)、散髪～月3回、ユニット全体消毒～週2回以上		
随時	地域行事外出・交流会・クラブ (一部中止)・法人研修会・法人各委員会 ・部会(web他)・利用者、職員コロナウイルスワクチン接種		
毎日	ラジオ・リハビリ体操、機能訓練 (平日)		

(4) 特定施設生活介護事業所 (30人) 入所者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	900	870	96.7%	97.2%
5	930	878	94.4%	96.0%
6	900	834	92.7%	98.2%
7	930	856	92.0%	92.6%
8	930	875	94.1%	94.9%
9	900	851	94.6%	98.6%
10	930	920	98.9%	96.0%
11	900	853	94.8%	96.3%
12	930	885	95.2%	96.3%
1	930	864	92.9%	95.4%
2	840	779	92.7%	96.7%
3	930	869	93.4%	96.2%
合計	10,950	10,334	94.4%	96.2%

入所者要介護度別

(令和5年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	0	5	13	7	3	2

男性 8名

女性 22名

入所者総数 30名

平均年齢

88.0歳

措置機関別入所状況

西予市

30名

12. 惣川高齢者生活福祉センター

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

①働くことの意義

私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊にします

②社会への貢献

私たちは、地域とともに、地域のために行動します

③法令・社会規範の遵守

私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します

④働きやすい職場風土

私たちは、共に働く仲間を尊重し、明るい職場を創ります

⑤顧客起点

私たちは、利用者様の立場で考え誠意をもって行動します

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和4年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	コロナ禍のため例年のように研修に参加することができませんでした。 虐待チェックリストを活用し、研修内容の文書等を職員間で回覧し周知を図りました。
	サービスの質の向上	リハビリや機能訓練による自立生活の維持を図りました。 コロナ禍においても可能な時期に思いつきドライブを実施し気分転換を図りました。 難聴者向けに文字表記したパネルを使用しました。
	地域との関係の向上	コロナ禍のため、十分な取り組みはできませんでした。
	生活環境・利用環境の向上	アンケートを取り環境に関する意見を聞き対応しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	ボランティアは、コロナ禍のため受け入れできませんでした。 惣川小学校、幼稚園の交流会は、コロナ禍でも年1～2回の実施できました。
	情報発信	コロナウイルス等情報を得た時点で文書を作成、利用者、家族に配布し周知に努めました。 職員間で情報共有に努めました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。
	人材の確保	コロナ禍で情報の提供や交流の場であった惣川民生委員会議に参加することが出来ませんでした。 地域住民への継続した声掛け等の対応により人材の確保に取り組みました。

	重点項目	令和4年度取組報告
	人材の定着	新任職員の育成を通じて指導する職員の成長も促しました。コロナ禍で外部研修への参加は困難でしたが、内部研修に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	就業規則を掲示し、変更点等については朝礼等で説明を行いました。奥伊予荘での研修の資料を配布し徹底を図りました。
	健全な財務規律の確立	地域の情報収集やケアマネとの連絡を密にして利用増を図りました。全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。

(3) 行事報告

月	行 事	研 修	そ の 他
4月	誕生会 レクリエーション外出 (中止) 思いつきドライブ (鬼北方面)	新年度事業計画と施設方針 法令遵守・個人情報 プライバシー保護 ハラスメント防止対策 成長支援目標設定	舟戸分館花見(中止)
5月	誕生会 レクリエーション外出 (中止)	食中毒・脱水症 感染症対策 事故再発防止研修 非常災害時の対応	
6月	誕生会 遠足(中止)	西予市土砂災害訓練 医療に関する研修	
7月	七夕飾り 誕生会	メンタルヘルス研修	
8月	誕生会 思いつきドライブ (大野ヶ原)	身体拘束・虐待防止研修 成長支援施設内実践発表	
9月	誕生会	緊急時の対応・AED	運営推進会議(書面開催)
10月	秋の遠足(中止) 地方祭見学(中止)	感染症予防研修	
11月	紅葉見学(ドライブ) 乙亥相撲観戦(中止)	介護技術に関する研修	奉仕作業(除草作業 ・カーブミラー磨き)
12月	クリスマス会 誕生会 惣川幼稚園・小学校交流会 思いつきドライブ(大門松) 買い物外出	避難・通報訓練	
1月	初詣(中止) 誕生会	事故再発防止研修 リスクマネジメント研修 認知症ケア 身体拘束・虐待防止研修 防犯訓練	
2月	節分、豆まき(中止)	成長支援実施結果報告会	
3月	誕生会 惣川小学校交流会	避難訓練 介護技術伝達講習	運営推進会議
毎月	誕生会、惣川職員会、思いつきドライブ		
毎日	高齢者用ラジオ体操、棒体操、リハビリ体操、口腔体操、編み紐体操		

(4) 通所介護事業利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	210	142	67.6%	81.4%
5	220	148	67.3%	85.2%
6	220	156	70.9%	83.2%
7	210	162	77.1%	77.7%
8	220	167	75.9%	79.1%
9	220	154	70.0%	83.2%
10	210	155	73.8%	79.5%
11	220	162	73.6%	76.4%
12	200	137	68.5%	76.0%
1	170	132	77.6%	67.1%
2	200	140	70.0%	63.0%
3	230	167	72.6%	67.8%
合計	2,530	1,822	72.0%	76.6%

利用定員 10名

1日平均利用 7.2人

営業日 月曜日から金曜日の週5日(8月14日、15日と12月29日～1月3日休業)

介護度状況 (令和5年3月末現在)

介護度状況 (令和5年3月末現在)					総合事業含む	
介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	要支援 1	要支援 2
6	4	0	1	0	17	6

男性 8名 女性 26名

平均介護度 1

XIV その他の公益事業

1. 修学支援事業

1-1 奨学金事業

(1) 行動指針

将来、社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職を希望する者を対象に、修学資金を貸与して養成事業等の修学に資することにより、事業継続のための人材確保を図り、地域福祉の増進と充実に貢献し、有為な人材を育成していきます。

○具体的取り組み

月	実 施 報 告	
4	HP掲載 奨学金交付	奨学金貸付1名
5	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
6	法人広報誌掲載、リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
7	リクルート活動 奨学金交付	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
8	リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
9	法人広報誌掲載、リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
10	リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
11	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
12		奨学金貸付1名・奨学金返済1名
1	奨学金審査委員会（令和4年度奨学生決定）	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
2		奨学金貸付1名・奨学金返済1名
3		奨学金貸付1名・奨学金返済1名

○実施状況

令和4年度の奨学金貸付者（奨学生）は1名、奨学金返済者が1名となっています。制度の周知を図り、学生の修学支援と法人の人材確保に努めます。

1-2 就職準備貸付金事業

(1) 行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職が内定した学生に対し、就職のための準備金を貸し付けることで福祉人材の確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

○具体的取り組み

月	実 施 報 告	
10	就職準備貸付金事業案内	
12	就職準備貸付金貸付	

○実施状況

当法人に就職が内定した2名の高校生に就職のための準備金を1名につき30万円の貸付を行いました。就職に必要な転居費用、被服費、通勤用自転車等の購入費用として利用されました。

就職に関する様々な不安要素を少しでも軽減することができます。

1-3 看護師資格取得に関する奨学金事業

(1) 行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会の職員に看護師資格取得に関する奨学金を貸付し、看護師の人材確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

○具体的取り組み

月	実 施 報 告
4	職員周知
7	職員周知
8	看護師奨学生選考試験
	看護師奨学生選考委員会開催（1名決定）

○実施状況

令和4年度については、1名の申し込みがあり選考試験を行いました。審査委員会で審査を行い看護師資格取得の奨学生として決定しました。令和5年度4月から休職して看護師養成校で学ぶこととなります。

利用しやすい制度にし、職員がスキルアップできると共に看護師の人材確保に繋げ、事業の継続を図っていきます。

2. 法人後見事業

(1) 行動指針

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など意思決定が困難な人を、法律的に保護し、支えます。法人の持つ専門性やネットワークを最大限に活かしながら、地域福祉の推進の末端を担い、法人の理念や基本方針の実現を目指します。

○実施状況

- 令和2年度より2件受任していましたが、どちらもお亡くなりになり現在受任件数は0件となっています。

対象者B氏には相続人にあたるご親族の方がおられないため、松山家庭裁判所宇和島支部に相続財産管理人の申立てをし、現在選任中です。

選任されれば、相続財産管理人に相続を行い終了となります。

- 西予市中核機関設置委員会に出席し、中核機関設置に向けて意見交換を行いました。西予市は中核機関の運用に関する内部協議を進めたところ令和5年度から西予市直営による運用を開始することとなりました。今後は、西予市成年後見制度中核機関連絡協議会の委員に任命される予定です。

対象者	A氏
選任日	令和2年10月8日
確定日	令和2年10月24日
登記日	令和2年10月28日
居住地	西予市宇和町
死亡日	令和4年3月25日

対象者	B氏
選任日	令和2年10月13日
確定日	令和2年10月30日
登記日	令和2年11月4日
居住地	西予市宇和町
死亡日	令和4年9月2日

※コロナ禍で、訪問できない時は電話連絡にて体調、状況の確認をさせていただきました。

※通帳名義、郵便物転送手続きを行いました。

○今後の課題

- ・ 法人が成年後見人を担うメリットとして複数人で対応できる点があります。特に身上保護（本人宅への定期訪問、医療や介護サービス等の契約・変更等、高齢者向け施設等への入退去に係る手続きなどを行うこと）については得意とするところではありますが、財産管理特に土地に関しては知識が薄いことが課題となりました。受任後の手続きなど落ち着く間もなく対象者の方が立て続けに亡くなられたということもあり、土地の処分まで手が回らなかったのが現実課題となりました。また、亡くなられた後の相続手続きも不明なことが多く、家庭裁判所とやり取りをさせていただきながら進めていった次第です。相続に関しては受任したケースによって変わる為、その都度聞きながら対応することが必要かと思えます。

西予市内の3社会福祉法人が今後も情報共有しながら西予市のセーフティネットとしての機能の充実、また職員のスキルアップを目指していきたいと考えています。

01/11/2023

01/11/2023